

平成19年度 全国学力・学習状況調査 島根県（公立）全体の調査結果のポイント

調査の概要

（1）調査の目的

- ア 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図り、併せて児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげる。

（2）調査の対象学年

市町村立小学校第6学年、県立特別支援学校小学部第6学年
市町村立中学校第3学年、県立特別支援学校中学部第3学年

（3）調査の内容

教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A]	主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B]
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能など 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

（4）調査日時

平成19年4月24日（火）

（5）4月24日に調査を実施した学校・児童生徒数

【小学校調査】

	対象学校数	学校数（実施率）	児童数
公立学校合計	255校	254校（97.7%）	6,632人

【中学校調査】

	対象学校数	学校数（実施率）	生徒数
公立学校合計	109校	107校（98.2%）	6,526人

第一次公表について

(1) 公表の内容

今回、島根県が独自に公表するのは、以下の内容である。

全国と比較した島根県の「教科に関する調査」結果の概要

全国と比較した島根県の「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」結果の概要

- ・児童生徒に対する調査結果の概要
- ・学校に対する調査結果の概要

(2) 公表の時期

平成19年10月24日(水)に、速報値を発表する。

併せて、島根県教育庁義務教育課のホームページに公表資料を掲載する。

平成20年1月を目途に詳細な分析を行い、その結果を公表する。

(3) 公表結果の取扱いに関する留意事項

今回公表するのは、集計結果であり詳細な分析結果ではないこと。

今回の調査で測ることができるものは、学力の一部であること。

単に数値のみで序列化されたり過度な競争につながったりすることがないように留意すること。

教科に関する調査の結果の全体概要

(1) 国語の全体概要(平均正答率)

小学校国語科においては、国語Aは全国(公立)の値をやや下回っていたが、国語Bは全国(公立)の値と同じであった。

中学校国語科においては、国語Aは全国(公立)の値をやや上回っており、国語Bは全国(公立)の値を2ポイント上回っていた。

全国の値との比較において、小学校、中学校ともに、国語Bの方が、国語Aに比べて高い傾向にあった。

(2) 算数・数学の全体概要(平均正答率)

小学校算数科においては、算数Aは全国(公立)の値と同じであったが、算数Bは全国(公立)の値をやや下回っていた。

中学校数学科においては、数学Aは全国(公立)の値をやや下回っていたが、数学Bは全国(公立)の値をやや上回っていた。

質問紙調査の結果の全体概要

(1) 児童生徒質問紙の結果の全体概要

生活習慣については、朝食を毎日食べている児童生徒の割合が、全国(公立)の値と比べて高い。

学習習慣については、学校以外での学習時間が、全国と比べて少ない傾向にある。今住んでいる地域の歴史や自然について関心をもったり、清掃活動などの地域の行事に参加したりする児童生徒の割合が、全国(公立)の値と比べて高いなど、地域(ふるさと)に関する項目で全国(公立)の値を上回っていた。

(2) 学校質問紙の結果の全体概要

学習に落ち着いて取り組むなど学校での学習に取り組む態度に関する項目で、全国(公立)を上回っていた。

放課後を利用した補足的な学習サポートを実施した小・中学校の割合が、全国の値と比べて高い。

国語、算数・数学の授業で、補足的な学習や発展的な学習の指導を行った小・中学校の割合が、全国の値と比べて低い。

【小学校国語 A】

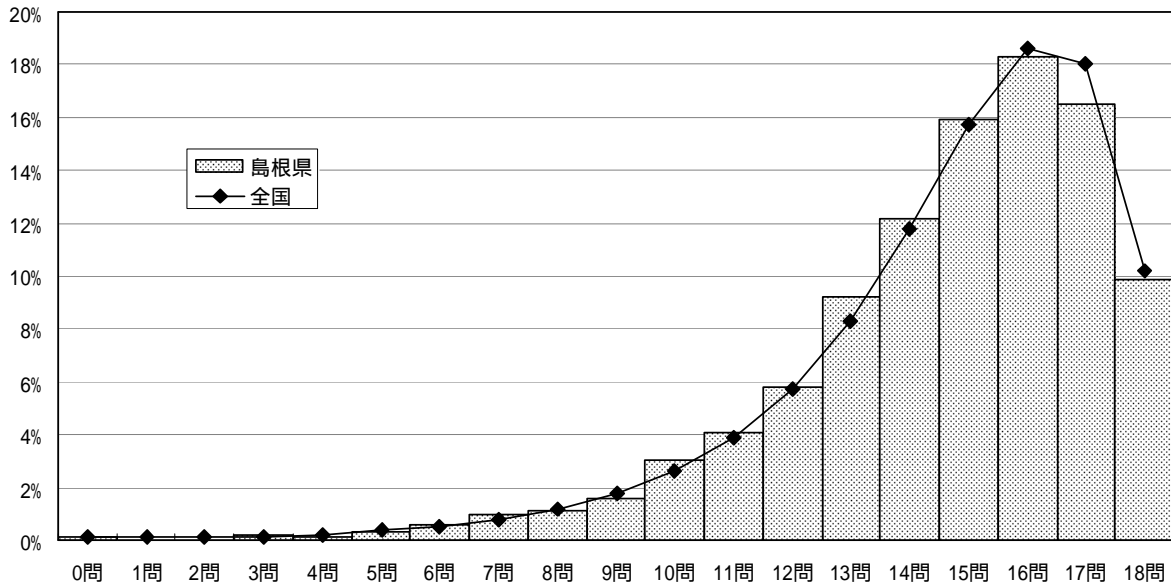
1 結果の概要

	島根県	全国	全国との差
平均正答数	14.6 / 18	14.7 / 18	-0.1
平均正答率(%)	81.1	81.7	-0.6

平均正答率を見ると、島根県(公立)の値は、81.1%であり、全国(公立)の値と比べて0.6ポイント下回っていた。

2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、全国と同様に右よりの単峰分布の形状になっている。



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要 領の領域	話すこと・聞くこと	2	57.5	56.6	+0.9
	書くこと	1	85.0	85.3	-0.3
	読むこと	3	67.4	67.3	+0.1
	言語事項	13	86.1	86.8	-0.7

「話すこと・聞くこと」では、「スピーチでの聞き手にわかりやすい話し方を選択する」問題の正答率が、全国(公立)の値と比べて、2.5ポイント上回っていた。

「言語事項」では、「漢字辞典の効率よい調べ方を選択する」問題の正答率が、全国(公立)の値と比べて4.5ポイント下回っていた。また、漢字の読み書きの問題で、6問中4問が全国(公立)の値と比べて0.7~1.6ポイント下回っていた。

【小学校国語B】

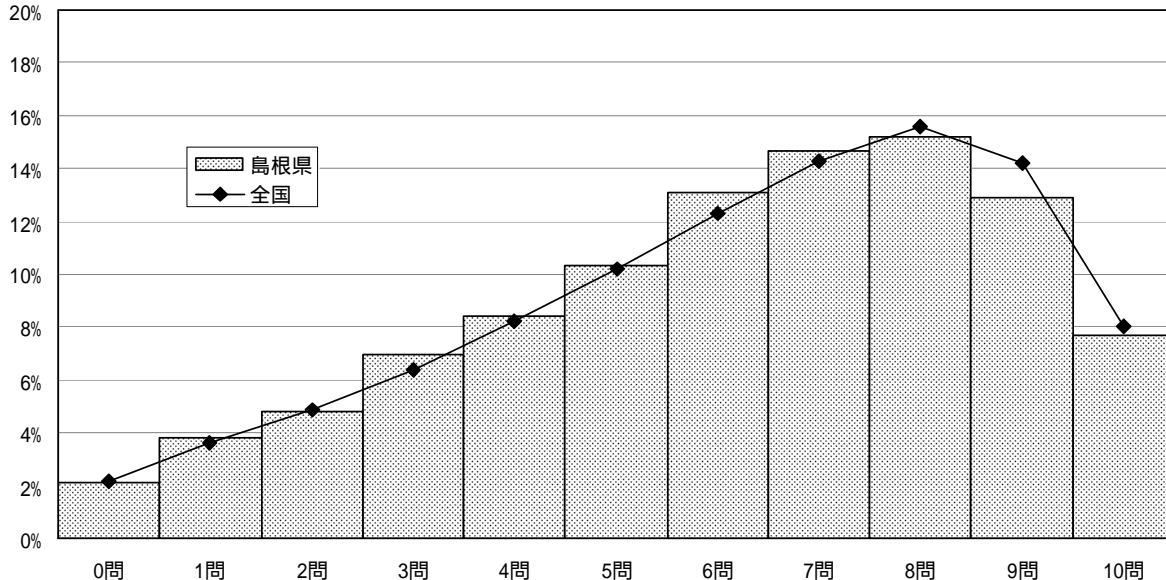
1 結果の概要

	島根県	全国	全国との差
平均正答数	6.2 / 10	6.2 / 10	± 0
平均正答率(%)	62.0	62.0	± 0

平均正答率を見ると、島根県(公立)の値は、62.0%であり、全国(公立)の値と同じであった。

2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、全国と同様に右よりの単峰分布の形状になっている。



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要 領の領域	話すこと・聞くこと	2	71.3	70.9	+0.4
	書くこと	4	61.0	61.7	-0.7
	読むこと	7	56.6	57.7	-1.1
	言語事項	1	76.5	77.0	-0.5

「話すこと・聞くこと」では、司会者として進行の仕方についての知識・技能を問う問題の正答率が、全国(公立)の値と比べて、0.5~0.7ポイント上回っていた。

「書くこと」では、文章を要約したり、条件に即して自分の考えを書いたりする力を問う問題の正答率が、全国(公立)の値と比べて1.5~2.0ポイント下回っていた。

「読むこと」では、2つの文章を比べて読み、観点到添って自分の考えを書く力を問う問題の正答率が、全国(公立)の値と比べて0.6~4.4ポイント下回っていた。

【小学校算数A】

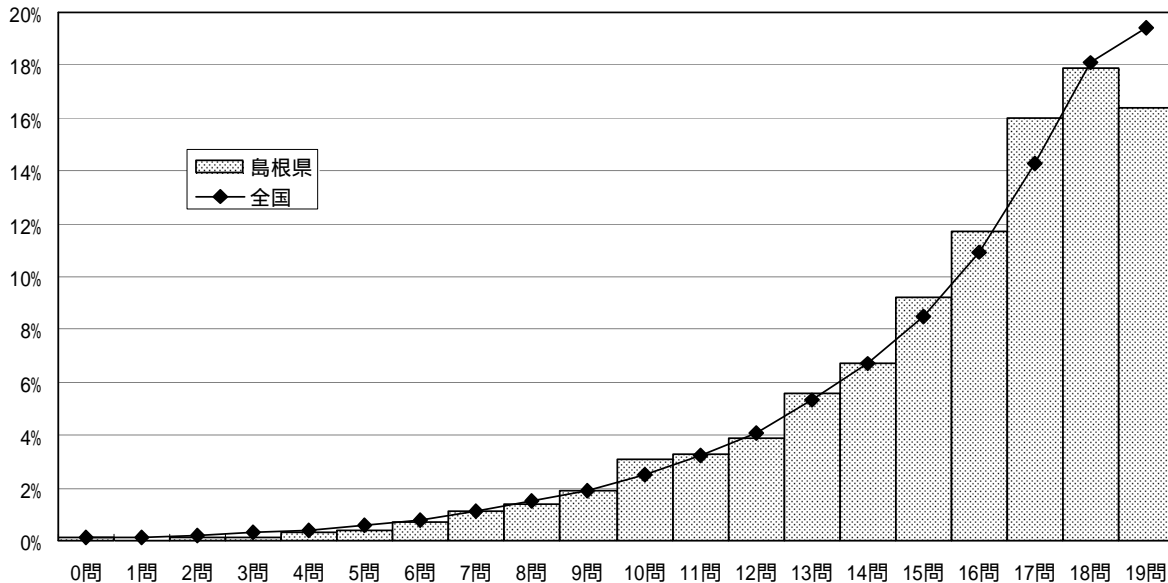
1 結果の概要

	島根県	全国	全国との差
平均正答数	15.6 / 19	15.6 / 19	±0
平均正答率(%)	82.1	82.1	±0

平均正答率を見ると 島根県（公立）の値は、82.1%であり、全国（公立）の値と同じであった。

2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、右よりの単峰分布の形状になっている。全19問中、全問正答した児童の割合が、全国に比べて低い。



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要 領の領域	数と計算	11	81.1	81.5	-0.4
	量と測定	3	86.5	86.1	+0.4
	図形	2	84.1	86.1	-2.0
	数量関係	4	76.7	75.4	+1.3

「数と計算」では、整数、小数、分数の四則計算の問題の正答率が、全国（公立）の値と比べて0.1～2.2ポイント上回っていた。

「図形」では、「三角形の角の大きさの理解を問う問題」の正答率が、全国（公立）の値と比べて4.6ポイント下回っていた。

「数量関係」では、「まわりの長さが一定である長方形の縦と横の長さの関係を表にまとめる問題」の正答率が、全国（公立）の値と比べて2.7ポイント上回っていた。

【小学校算数B】

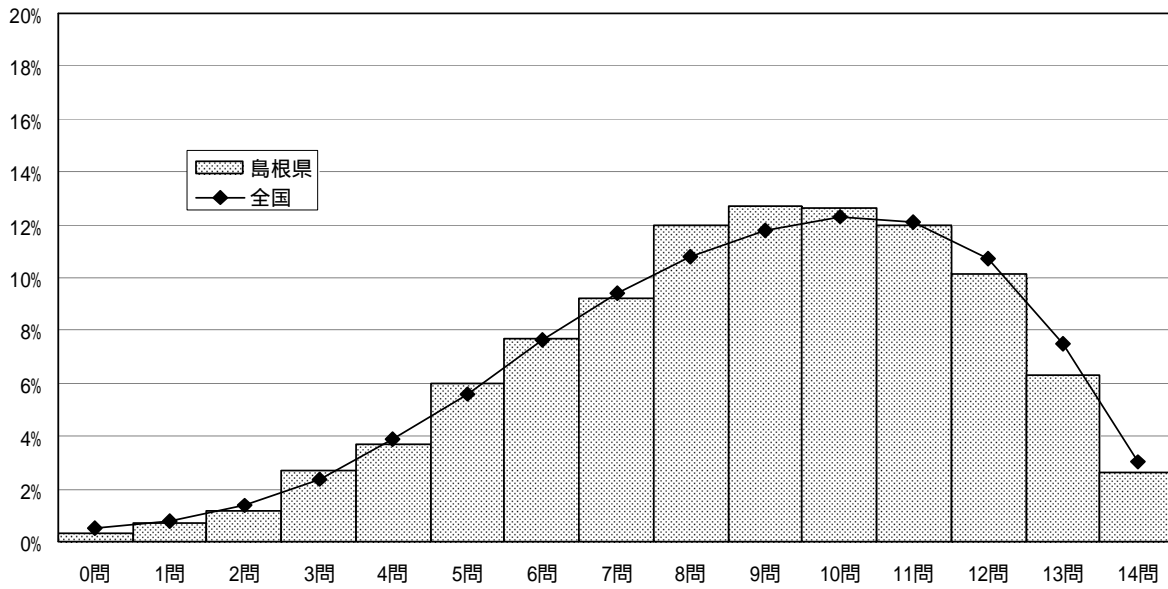
1 結果の概要

	島根県	全国	全国との差
平均正答数	8.8 / 14	8.9 / 14	-0.1
平均正答率(%)	62.9	63.6	-0.7

平均正答率を見ると島根県（公立）の値は、62.9%であり、全国（公立）の値と比べて0.7ポイント下回っていた。

2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、全国と同様に右よりの単峰分布の形状になっている。



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要 領の領域	数と計算	2	59.4	58.9	+0.5
	量と測定	3	57.1	58.0	-0.9
	図形	3	72.2	72.5	-0.3
	数量関係	9	65.0	65.5	-0.5

「数と計算」では、「計算の工夫を理解し、その計算方法を説明する問題」の正答率が、全国（公立）の値と比べて2.5ポイント上回っていた。

「量と測定」では、「地図を観察して図形を見だし、面積を比較し、説明する問題」の正答率が、全国（公立）の値と比べて3.1ポイント下回っていた。

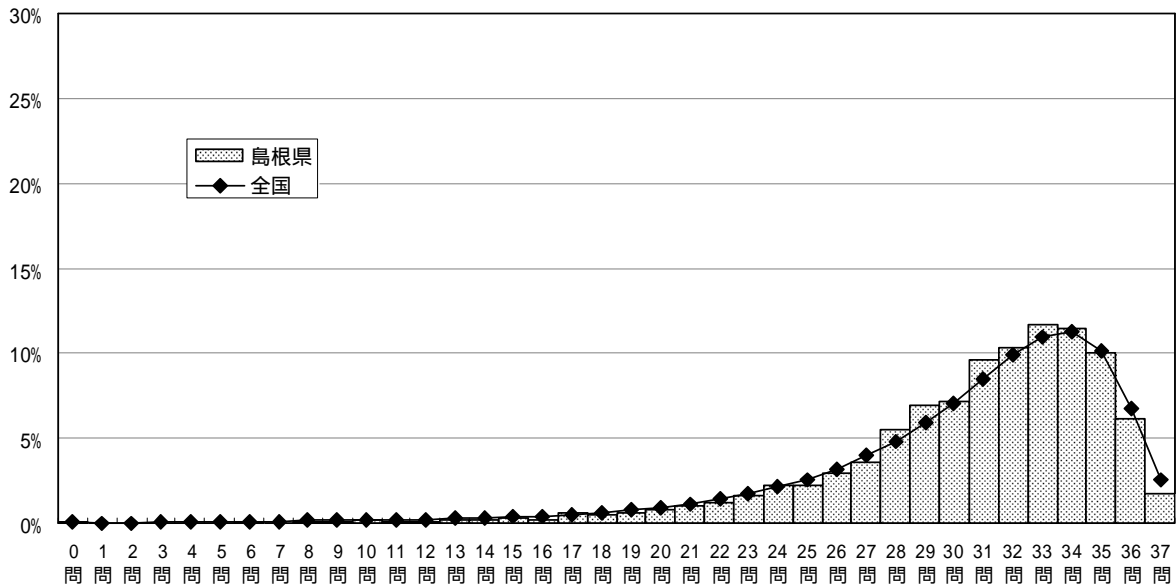
【中学校国語 A】

1 結果の概要

	島根県	全国	全国との差
平均正答数	30.5 / 37	30.2 / 37	+0.3
平均正答率(%)	82.4	81.6	+0.8

平均正答率を見ると、島根県(公立)の値は、82.4%であり、全国(公立)の値と比べて0.8ポイント上回っていた。

2 正答数分布状況



児童の正答数の分布は、全国と同様に右よりの単峰分布の形状になっている。

3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要 領の領域	話すこと・聞くこと	8	91.7	90.1	+1.6
	書くこと	4	77.5	73.4	+4.1
	読むこと	7	80.9	80.6	+0.3
	言語事項	18	80.2	80.3	-0.1

「話すこと・聞くこと」では、効果的なメモの取り方やインタビューの仕方などの知識・技能を問う問題の正答率が、全国(公立)の値と比べて0.6~2.6ポイント上回っていた。

「書くこと」では、手紙文の書き方などの知識・技能を問う問題の正答率が、全国(公立)の値と比べて2.0~5.8ポイント上回っていた。

「言語事項」では、漢字の読み書きの問題で、6問中4問が全国(公立)の値と比べて0.7~1.6ポイント下回っていた。

【中学校国語B】

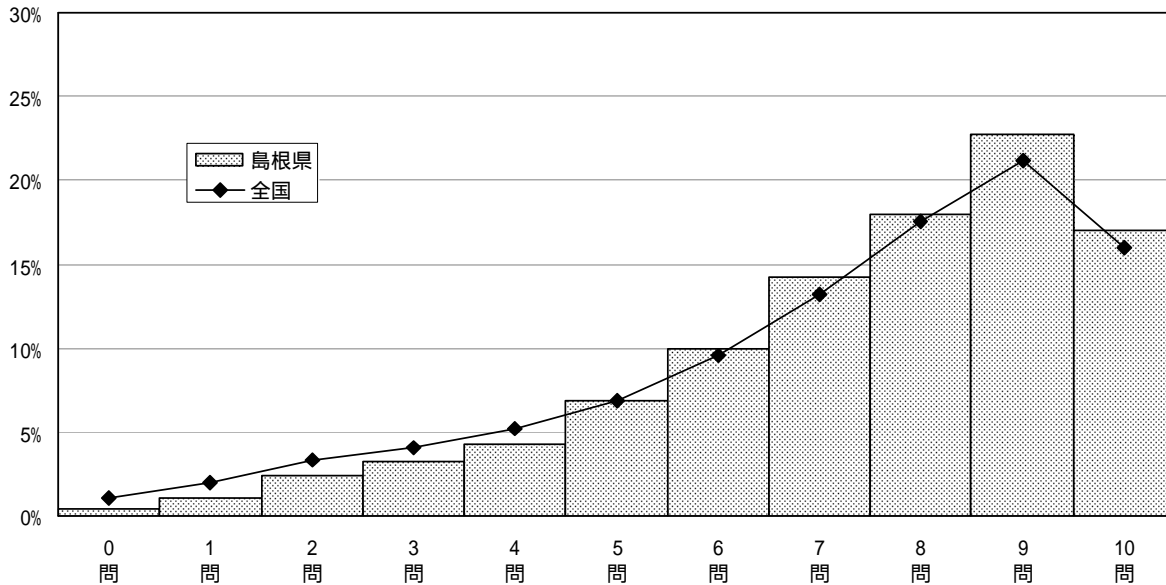
1 結果の概要

	島根県	全国	全国との差
平均正答数	7.4 / 10	7.2 / 10	+0.2
平均正答率(%)	74.0	72.0	+2.0

平均正答率を見ると、島根県(公立)の値は、74.0%であり、全国(公立)の値と比べて2.0ポイント上回っていた。

2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、全国と同様に右よりの単峰分布の形状になっている。



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要 領の領域	話すこと・聞くこと	1	84.4	81.3	+3.1
	書くこと	3	66.8	64.4	+2.4
	読むこと	9	73.3	70.6	+2.7
	言語事項	1	71.5	68.5	+3.0

「話すこと・聞くこと」では、話すことの内容に応じて、適切な資料を提示する力を問う問題が、全国(公立)の正答率に比べて、3.1ポイント上回っていた。

「書くこと」「読むこと」では、「情報を基に根拠を明らかにしながら、自分の考えが適切に相手に伝わるように書く問題」、「作品の内容や構成、表現上の特色を踏まえ、自分の考えを書く力を問う問題」の正答率が、全国(公立)の値と比べて、それぞれ、2.3ポイント、3.2ポイント上回っていた。

【中学校数学 A】

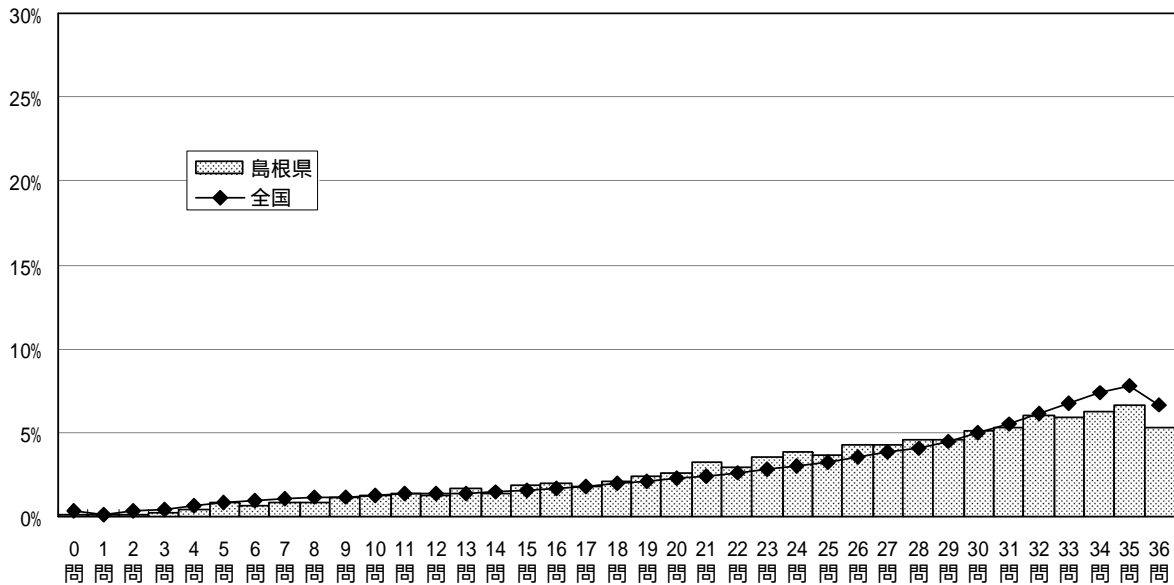
1 結果の概要

	島根県	全国	全国との差
平均正答数	25.6 / 36	25.9 / 36	-0.3
平均正答率(%)	71.1	71.9	-0.8

平均正答率を見ると島根県（公立）の値は、71.1%であり、全国（公立）の値と比べて0.8ポイント下回っていた。

2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、全国とほぼ同様の形状になっている。



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要 領の領域	数と式	12	73.5	74.4	-0.9
	図形	12	74.8	75.5	-0.7
	数量関係	12	65.4	65.9	-0.5

「数と式」では、「文字式の値を求める問題」の正答率が、全国（公立）の値と比べて4.4ポイント下回っていた。

「図形」では、「空間での直線と直線の位置関係（ねじれの位置）の理解を問う問題」の正答率が、全国（公立）の値と比べて6.9ポイント下回っていた。

「数量関係」では、「樹形図や表などを利用して、場合の数を求める問題」の正答率が、全国（公立）の値と比べて7.1ポイント上回っていた。

【中学校数学B】

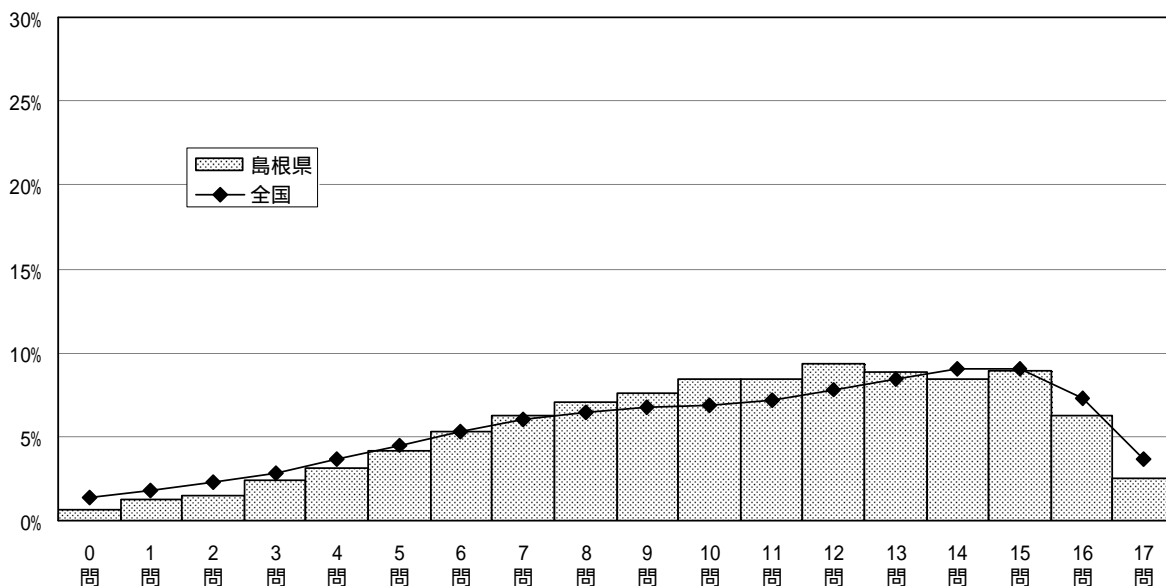
1 結果の概要

	島根県	全国	全国との差
平均正答数	10.4 / 17	10.3 / 17	+0.1
平均正答率(%)	61.2	60.6	+0.6

平均正答率を見ると島根県（公立）の値は、61.2%であり、全国（公立）の値と比べて 0.6 ポイント上回っていた。

2 正答数分布状況

児童の正答数の分布は、全国とほぼ同様の形状になっている。



3 分類・区分別平均正答率

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)		
			島根県	全国	全国との差
学習指導要 領の領域	数と式	5	47.8	48.2	-0.4
	図形	2	54.5	53.1	+1.4
	数量関係	10	69.2	67.9	+1.3

「数と式」では、「条件に合った計算式を新たにつくる問題」の正答率が、全国（公立）の値と比べて 2.9 ポイント上回っていた。

「数量関係」では、時間と距離の関係を表すグラフをみて、事象を数学的に読み取り、考えを説明する問題の正答率が、全国（公立）の値と比べて 1.7~2.6 ポイント上回っていた。一方、「自然数の性質に関する説明を読み発展的に考え、その結果を説明する問題」の正答率が、全国（公立）の値と比べて 7.4 ポイント下回っていた。

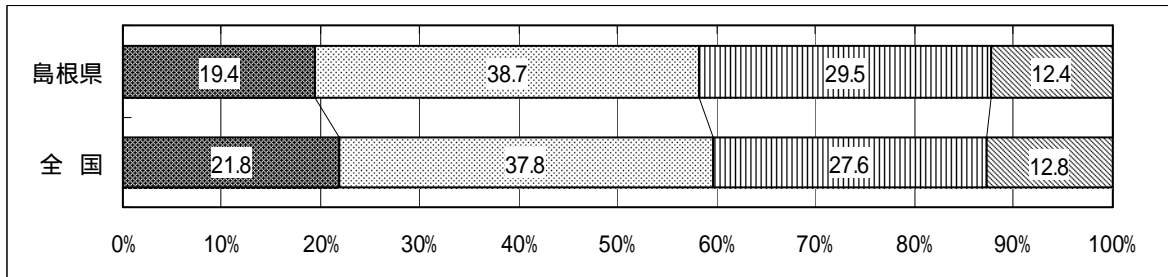
児童生徒質問紙

< 学習に対する関心・意欲・態度 >

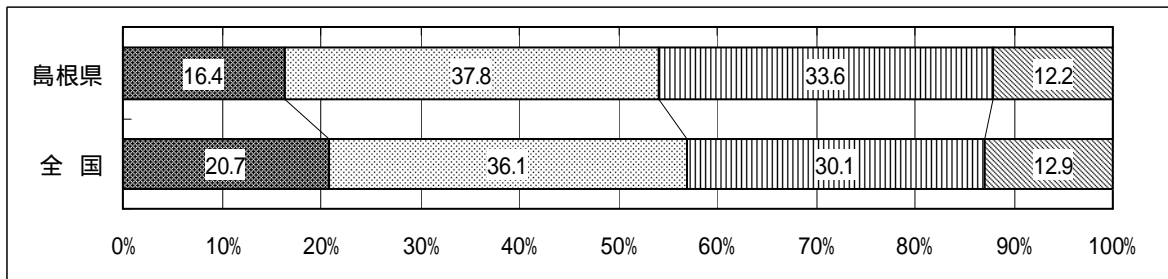
国語の勉強が好きな児童生徒の割合は、小学校 58.1%、中学校 54.2%であり、ともに全国（公立）の値を下回っていた。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 その他、無回答

【小学校】 全国(公立)の値と比べると、1.5ポイント下回っていた。



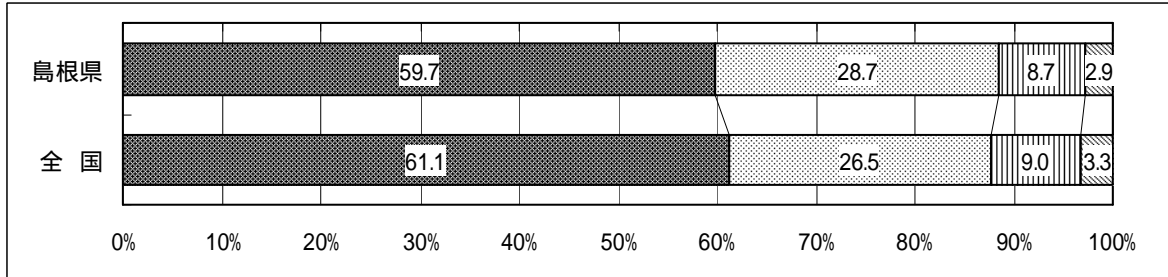
【中学校】 全国(公立)の値と比べると、2.6ポイント下回っていた。



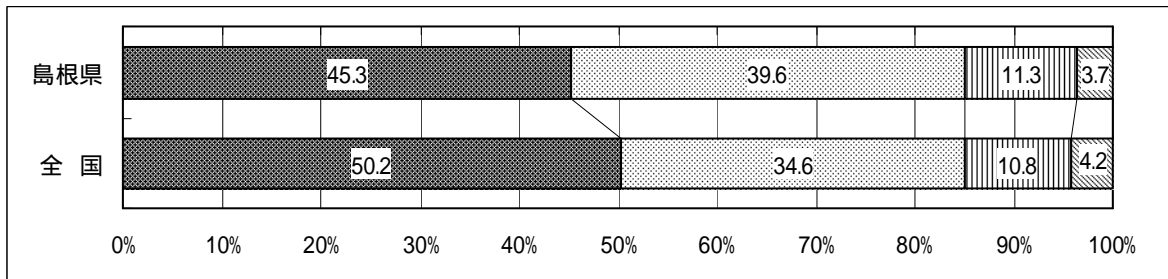
国語の授業で学習したことが、将来、社会に出たときに役に立つと思う児童生徒の割合は、小学校 88.4%、中学校 84.9%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 その他、無回答

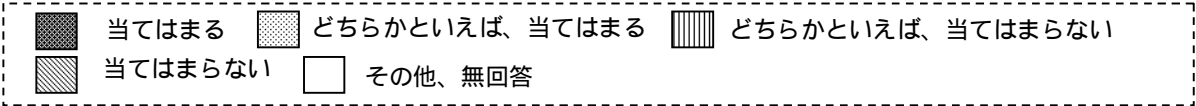
【小学校】 全国(公立)の値と比べると、0.8ポイント上回っていた。



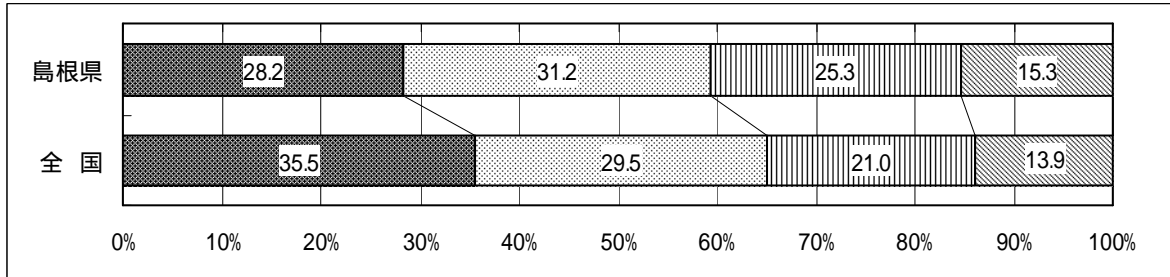
【中学校】 全国(公立)の値と比べると、0.1ポイント上回っていた。



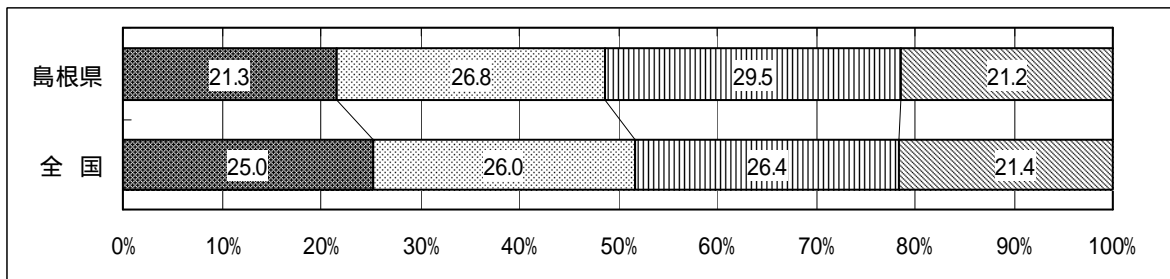
算数・数学の勉強が好きな児童生徒の割合は、小学校 59.4%、中学校 48.1%であり、ともに全国（公立）の値を下回っていた。



【小学校】 全国(公立)の値と比べると、5.6ポイント下回っていた。



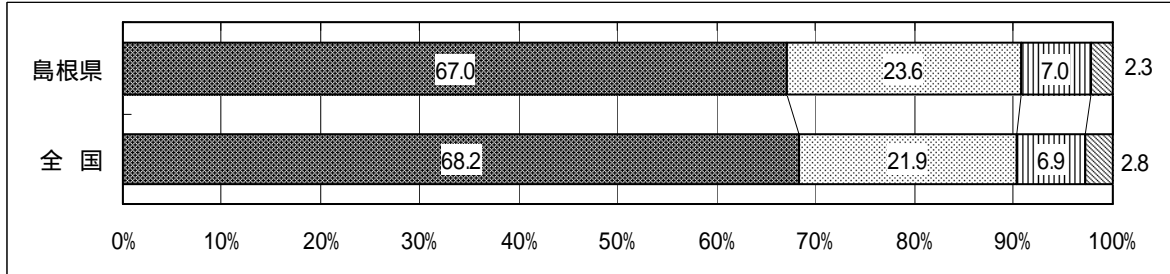
【中学校】 全国(公立)の値と比べると、2.9ポイント下回っていた。



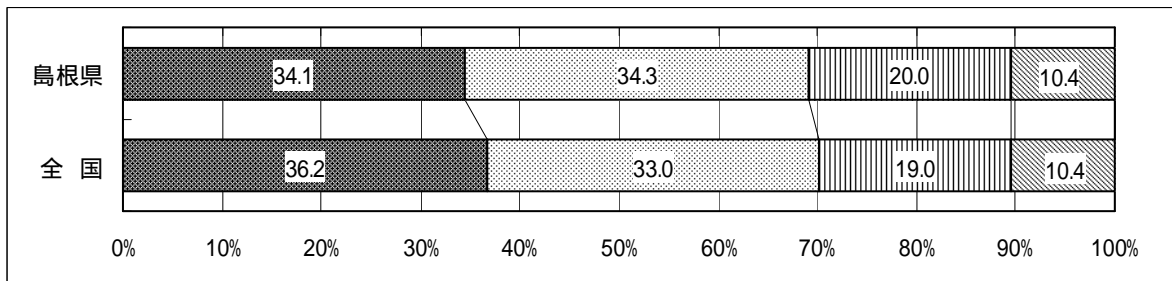
算数・数学の授業で学習したことが、将来、社会に出たときに役に立つと思う児童生徒の割合は、小学校 90.6%、中学校 68.4%であり、小学校では全国（公立）の値を上回っていたが、中学校では下回っていた。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 その他、無回答

【小学校】 全国(公立)の値と比べると、0.5 ポイント上回っていた。

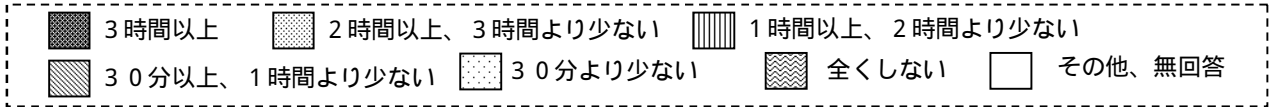


【中学校】 全国(公立)の値と比べると、0.8 ポイント下回っていた。

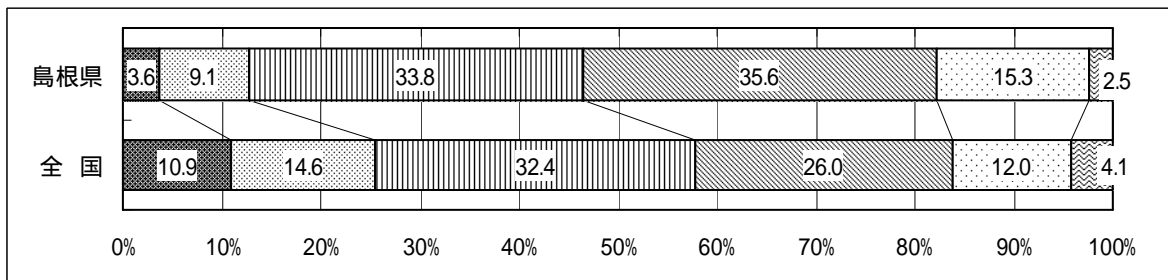


< 学習時間等 >

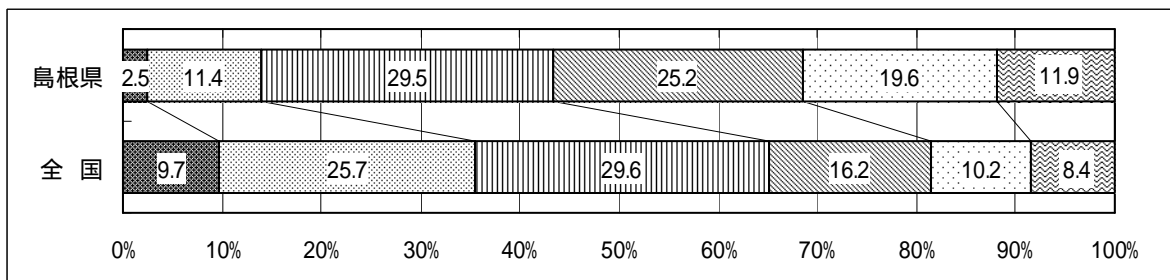
学校の授業以外に、2時間以上勉強する児童生徒の割合は、小学校12.7%、中学校13.9%であり、全国(公立)の値を下回っていた。学習時間が1時間より少ない児童生徒の割合は、小学校53.4%、中学校56.7%であり、ともに全国(公立)の値を上回っていた。



【小学校】 2時間以上勉強する児童の割合は、全国(公立)の値と比べると、12.8ポイント下回っていた。
 学習時間が1時間より少ない児童の割合は、全国(公立)の値と比べると、11.3ポイント上回っていた。



【中学校】 2時間以上勉強する生徒の割合は、全国(公立)の値と比べると、21.5ポイント下回っていた。
 学習時間が1時間より少ない生徒の割合は、全国(公立)の値と比べると、21.9ポイント上回っていた。

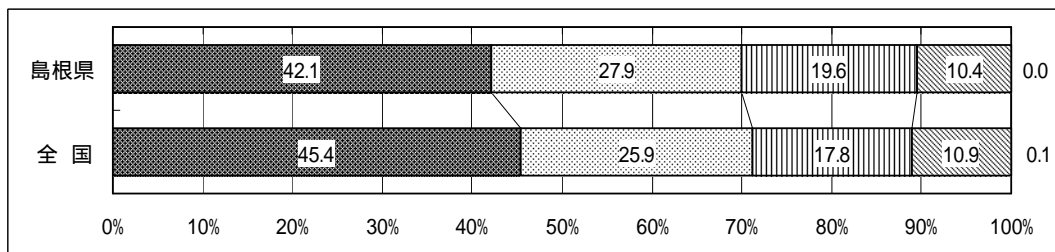


学校の授業時間以外の勉強時間には、学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。

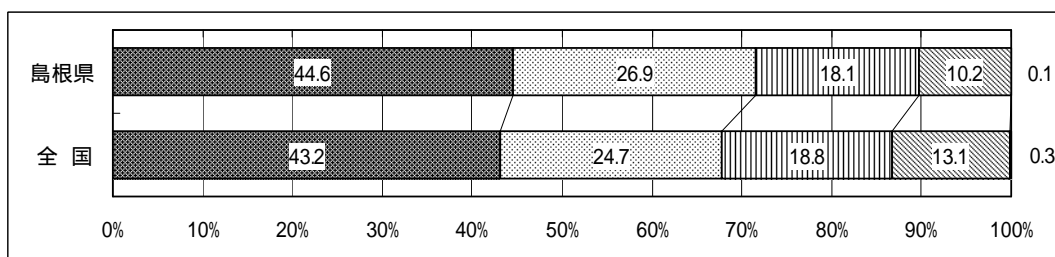
文部科学省の分析から、読書が好きな児童生徒、家や図書館で普段から読書をする児童生徒（小学校調査においては30分以上、中学校調査においては10分以上）の方が、正答率が高い傾向が見られる。読書が好きな児童生徒の割合は、小学校 70.0%、中学校 71.5%であり、小学校では全国(公立)の値を下回っていたが、中学校では上回っていた。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 その他、無回答

【小学校】 全国(公立)の値と比べると、1.3ポイント下回っていた。



【中学校】 全国(公立)の値と比べると、3.6ポイント上回っていた。

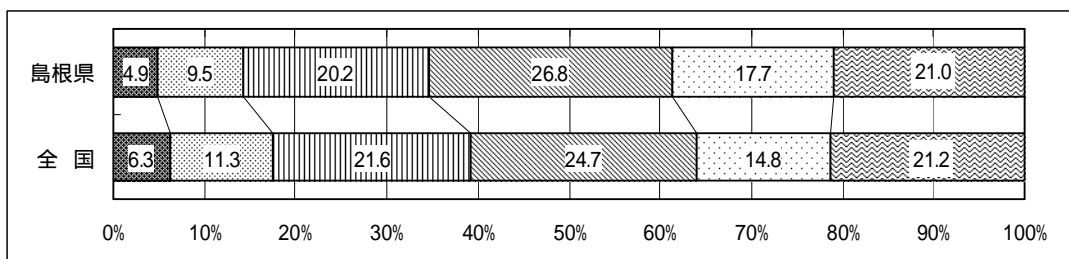


教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。

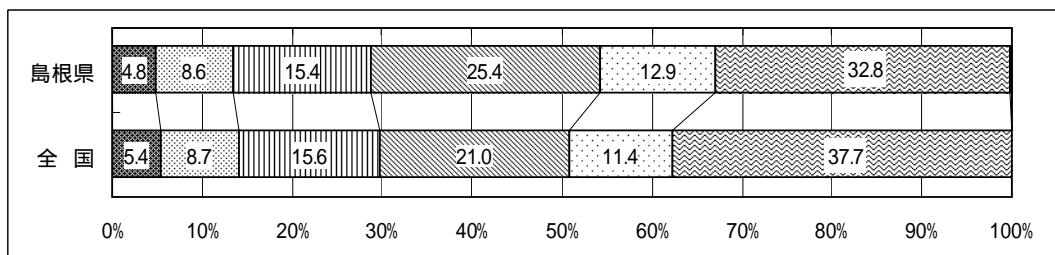
家や図書館で、普段（月～金曜日）1日に、30分以上読書する児童（小学校）の割合は34.6%、10分以上読書する生徒（中学校）の割合は67.1.8%であり、小学校では全国(公立)の値を下回っていたが、中学校では上回っていた。

2時間以上
 1時間以上、2時間より少ない
 30分以上、1時間より少ない
 10分以上、30分より少ない
 10分以上より少ない
 全くしない
 その他、無回答

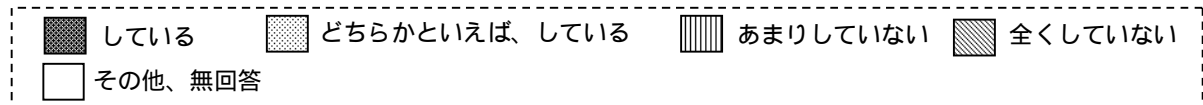
【小学校】 30分以上読書する児童の割合は、全国(公立)の値と比べると、4.6ポイント下回っていた。



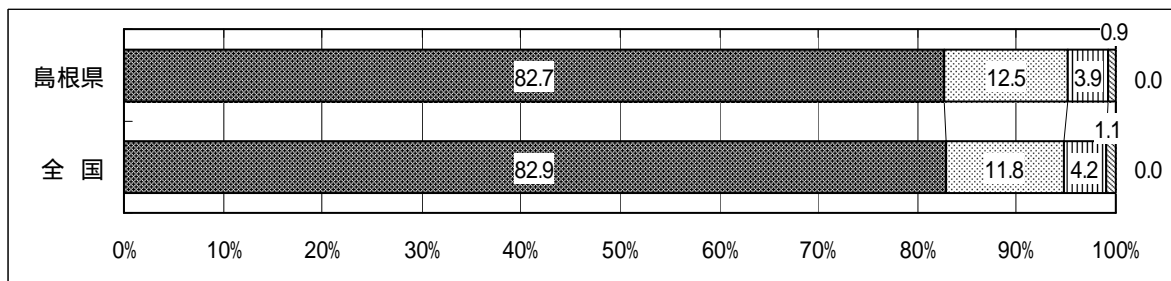
【中学校】 10分以上読書する生徒の割合は、全国(公立)の値と比べると、5.0ポイント上回っていた。



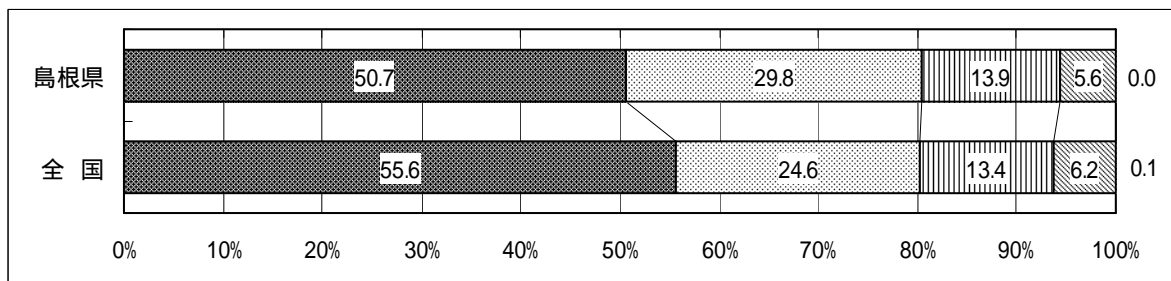
文部科学省の分析から、家で学校の宿題をする児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。家で学校の宿題をする児童生徒の割合は、小学校 95.2%、中学校 80.5.%であり、ともに全国(公立)の値を上回っていた。



【小学校】 全国(公立)の値と比べると、0.5ポイント上回っていた。

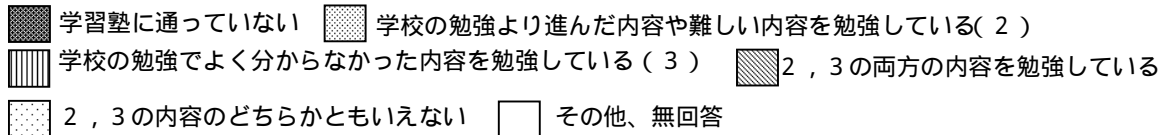


【中学校】 全国(公立)の値と比べると、0.3ポイント上回っていた。

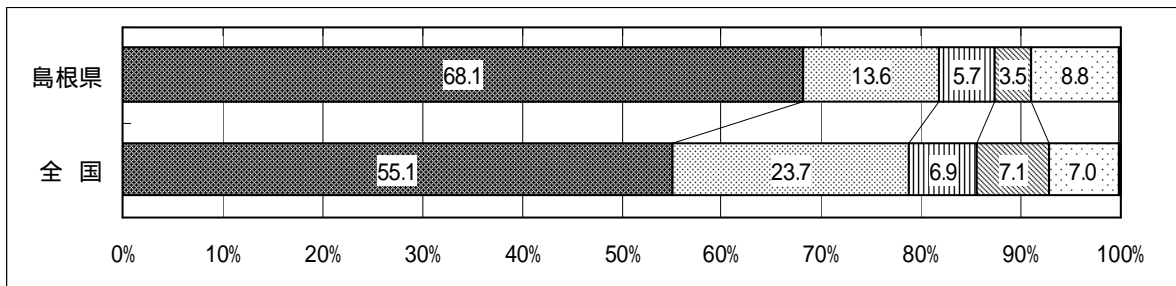


< 学習塾 >

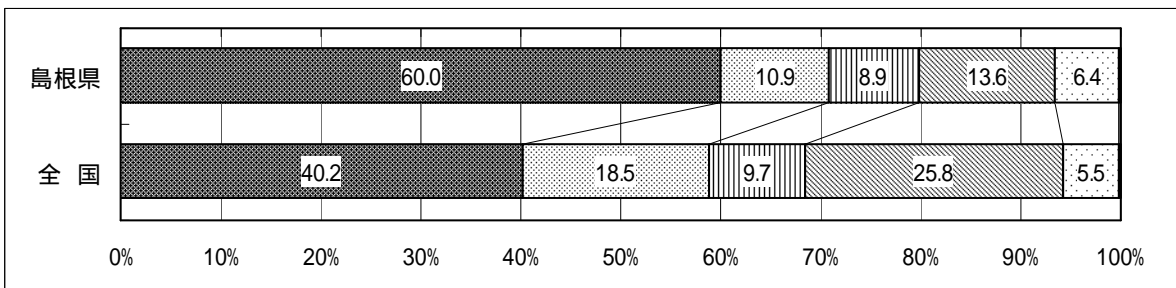
文部科学省の分析から、学習塾（家庭教師を含む）で「学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している」児童生徒、「通っていない」児童生徒、「学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している」児童生徒の順に、正答率が高い傾向が見られる。
 学習塾（家庭教師を含む）で勉強している児童生徒の割合は、小学校 31.6%、中学校 39.8%であり、ともに全国（公立）の値を下回っていた。



【小学校】全国(公立)の値と比べると、13.1ポイント下回っていた。

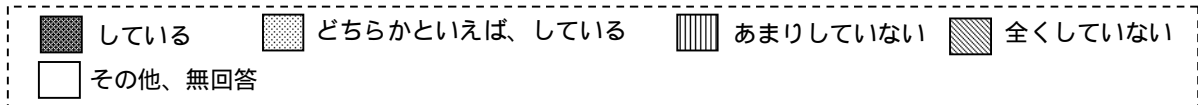


【中学校】全国(公立)の値と比べると、19.7ポイント下回っていた。

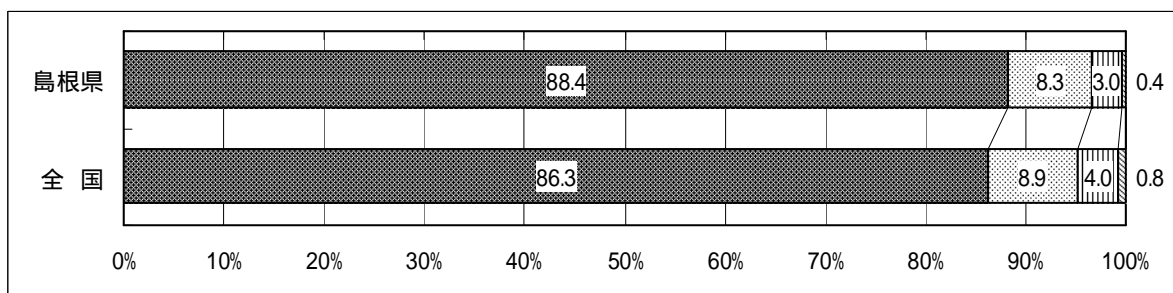


< 基本的生活習慣 >

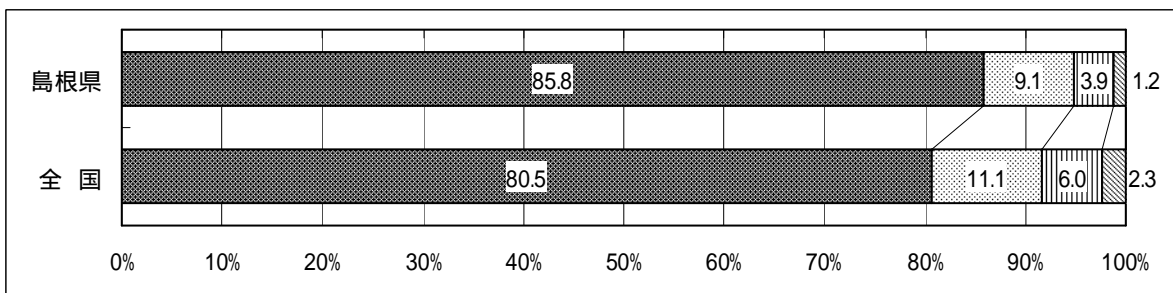
文部科学省の分析から、朝食を毎日食べる児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、小学校 96.7%、中学校 94.9%であり、ともに全国(公立)の値を上回っていた。



【小学校】 全国(公立)の値と比べると、1.5 ポイント上回っていた。

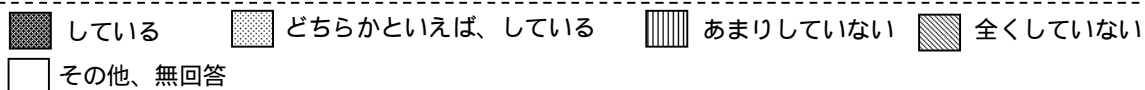


【中学校】 全国(公立)の値と比べると、3.3 ポイント上回っていた。

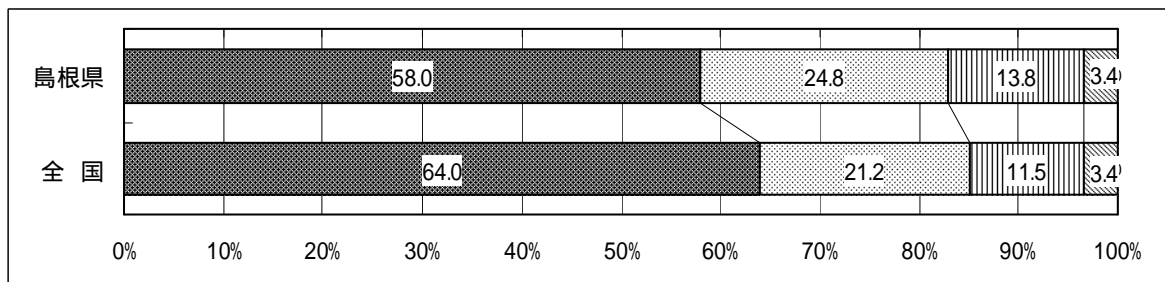


文部科学省の分析から、学校に行く前に持ち物を確認する児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

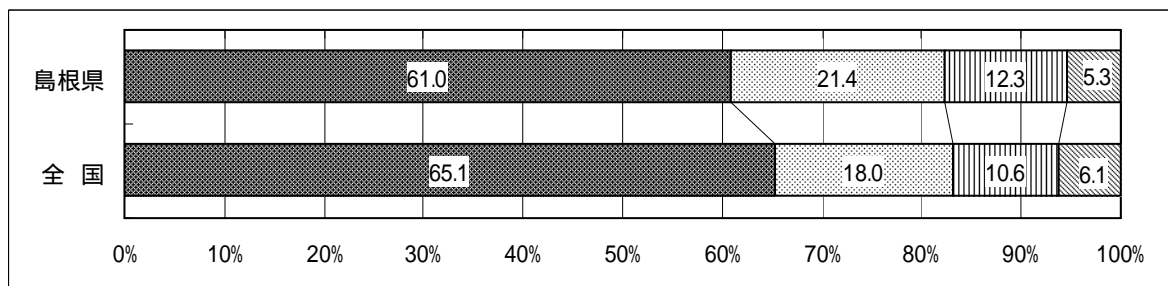
学校に行く前に持ち物を確認する児童生徒の割合は、小学校 82.8%、中学校 82.4%であり、ともに全国（公立）の値を下回っていた。



【小学校】 全国(公立)の値と比べると、2.4ポイント下回っていた。



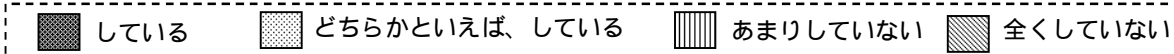
【中学校】 全国(公立)の値と比べると、0.7ポイント下回っていた。



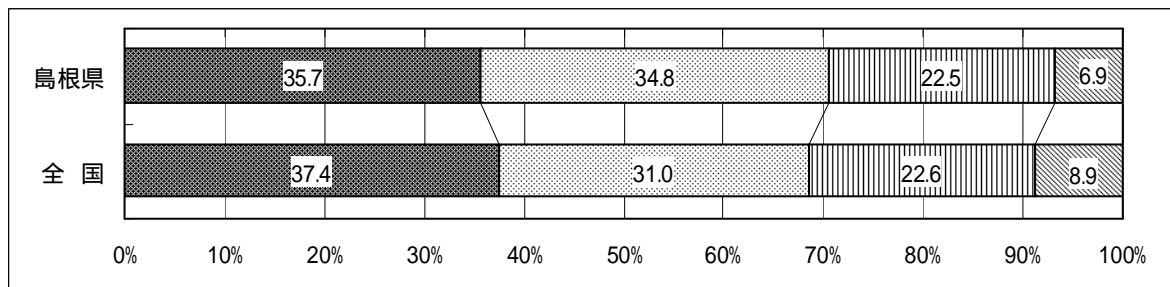
< 家庭でのコミュニケーション >

文部科学省の分析から、家の人と学校での出来事について話をする児童生徒の方が正答率が高い傾向が見られる。

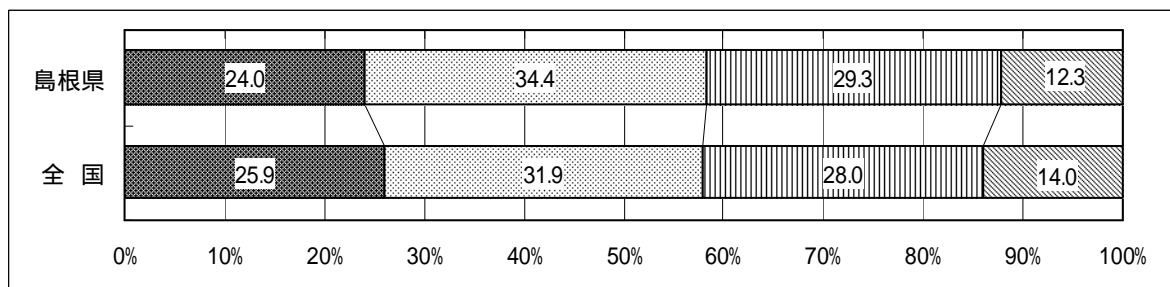
家の人と学校での出来事について話をする児童生徒の割合は、小学校 70.5%、中学校 58.4%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



【小学校】 全国(公立)の値と比べると、2.1ポイント上回っていた。

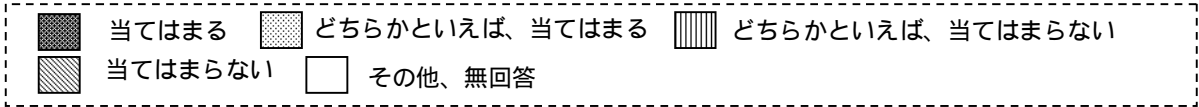


【中学校】 全国(公立)の値と比べると、0.6ポイント上回っていた。

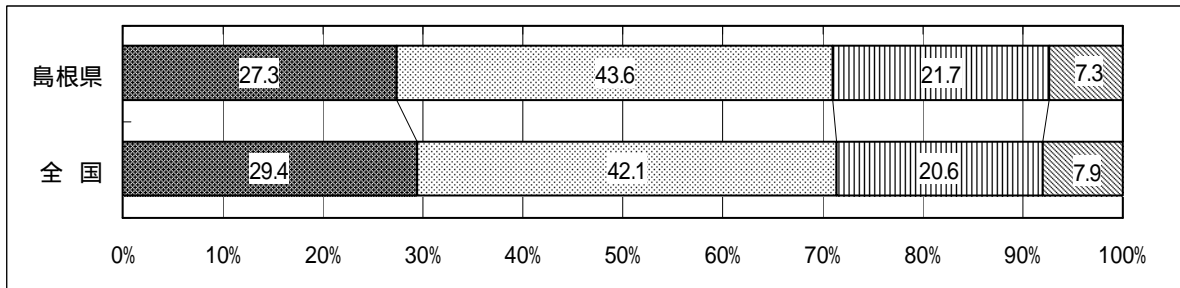


< 自尊意識・規範意識等 >

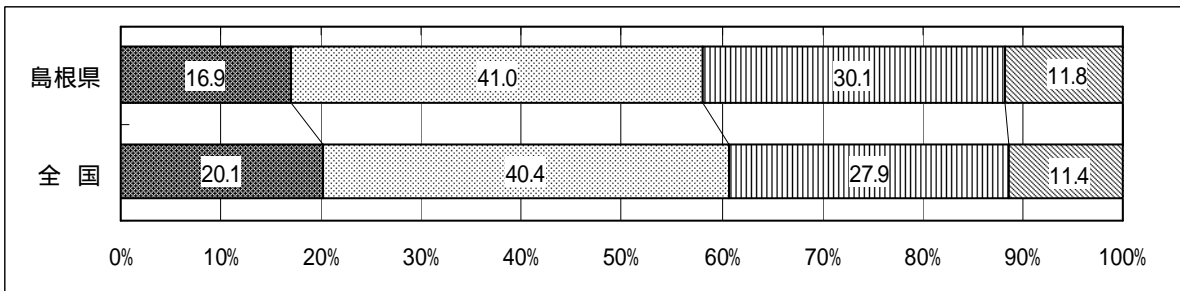
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合は、小学校 70.9%、中学校 57.9%であり、ともに全国（公立）の値を下回っていた。



【小学校】 全国(公立)の値と比べると、0.6ポイント下回っていた。



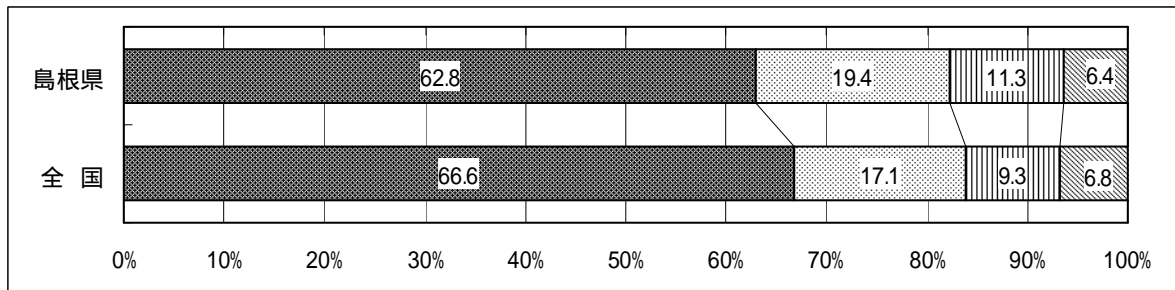
【中学校】 全国(公立)の値と比べると、2.6ポイント下回っていた。



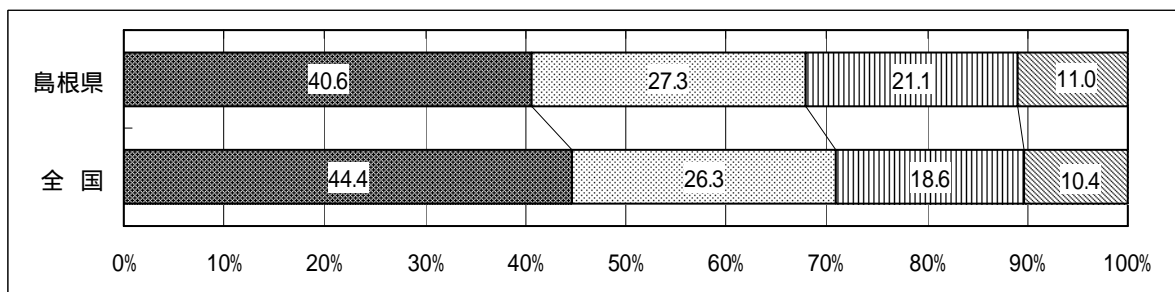
将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合は、小学校 82.2%、中学校 67.9%であり、ともに全国（公立）の値を下回っていた。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 その他、無回答

【小学校】 全国(公立)の値と比べると、1.5ポイント下回っていた。



【中学校】 全国(公立)の値と比べると、2.8ポイント下回っていた。

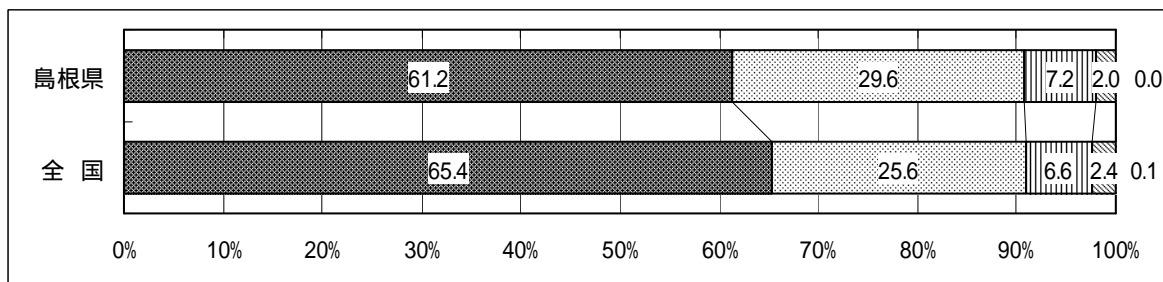


文部科学省の分析から、人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

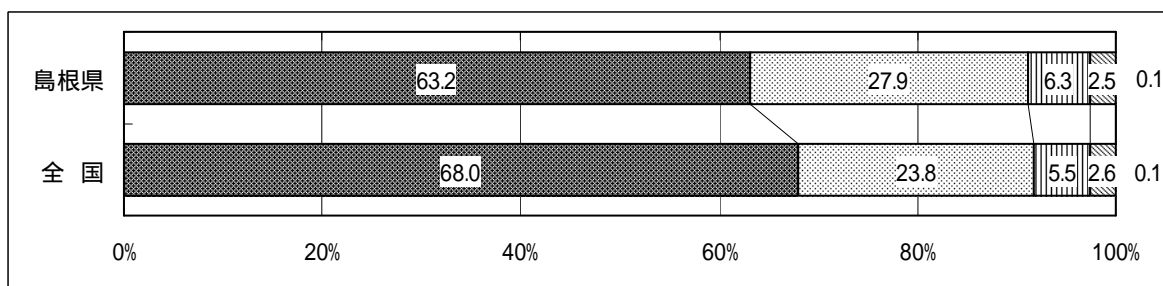
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小学校 90.8%、中学校 91.1%であり、ともに全国（公立）の値を下回っていた。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 その他、無回答

【小学校】 全国(公立)の値と比べると、0.2ポイント下回っていた。

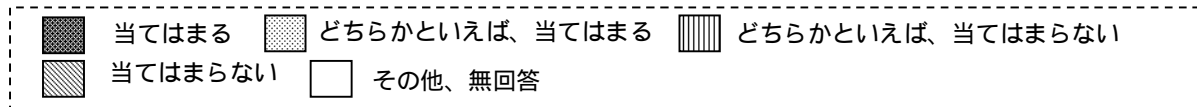


【中学校】 全国(公立)の値と比べると、0.7ポイント下回っていた。

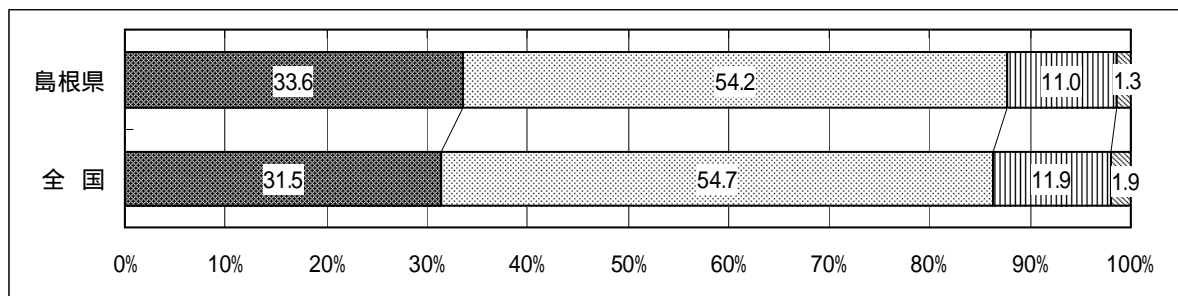


文部科学省の分析から、学校のきまり・規則を守っている児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

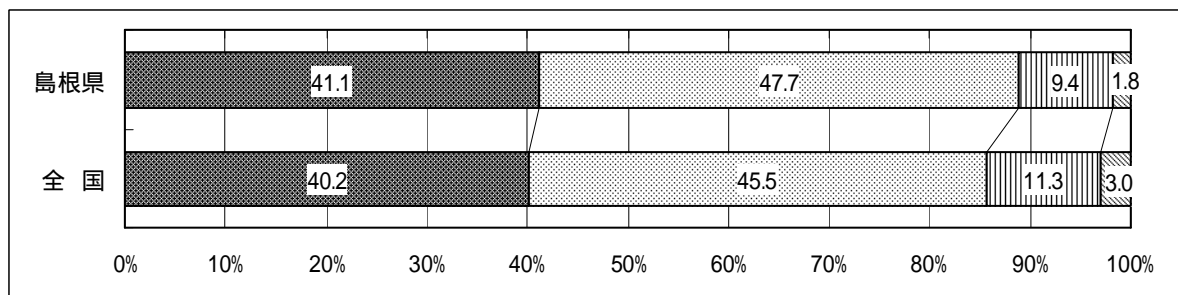
学校のきまり・規則を守っている児童生徒の割合は、小学校 87.8%、中学校 88.8%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



【小学校】 全国(公立)の値と比べると、1.6ポイント上回っていた。

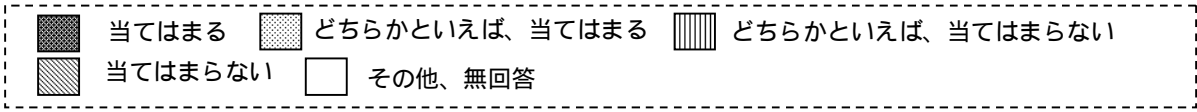


【中学校】 全国(公立)の値と比べると、3.1ポイント上回っていた。

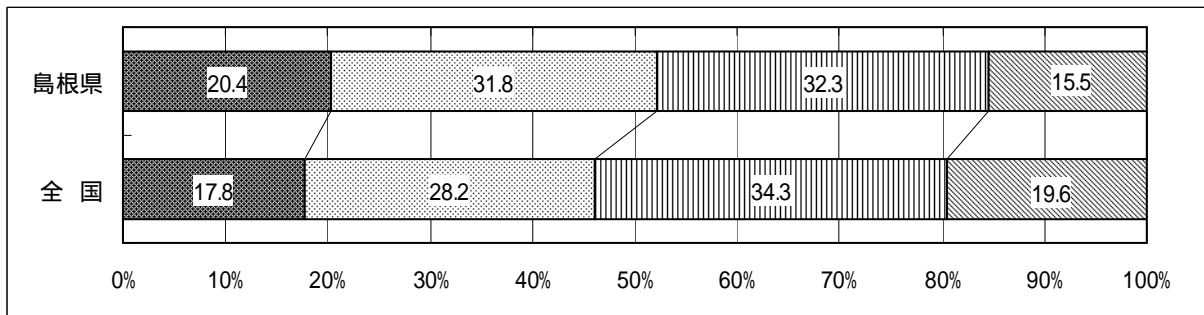


< 地域とのかかわり >

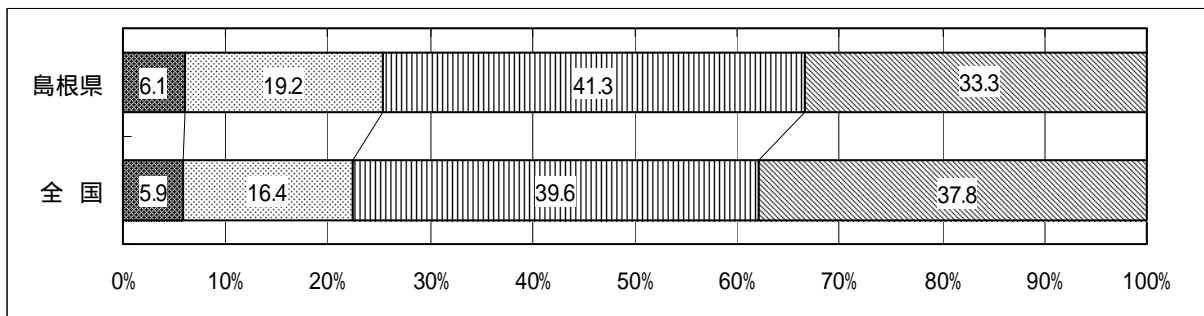
今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある児童生徒の割合は、小学校 52.2%、中学校 25.3%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



【小学校】 全国（公立）の値と比べると、6.2ポイント上回っていた。



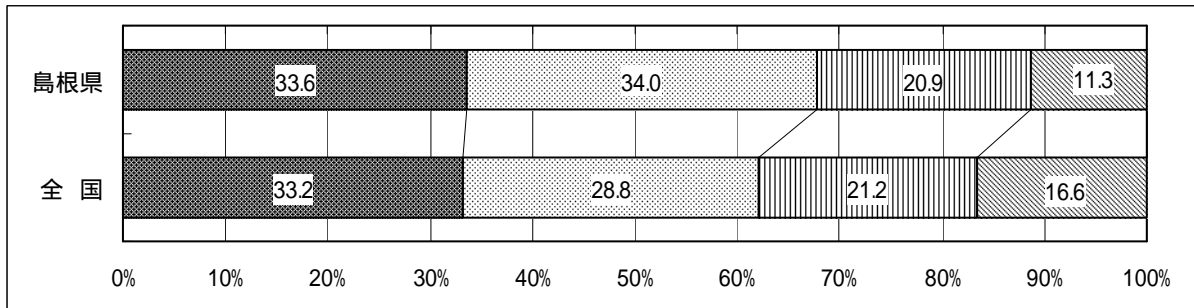
【中学校】 全国（公立）の値と比べると、3.0ポイント上回っていた。



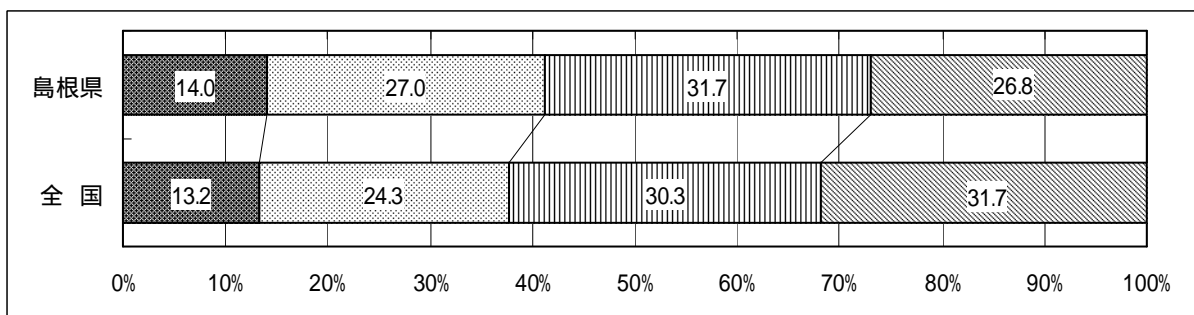
今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合は、小学校 67.6%、中学校 41.0%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 その他、無回答

【小学校】 全国（公立）の値と比べると、5.6ポイント上回っていた。



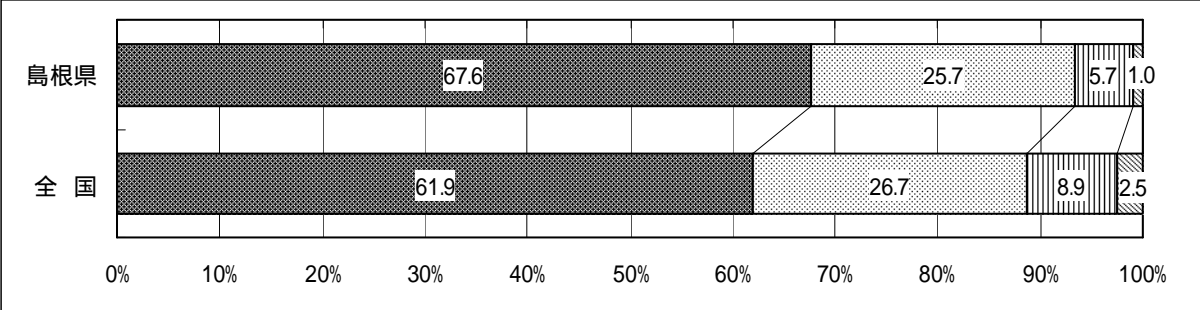
【中学校】 全国（公立）の値と比べると、3.5ポイント上回っていた。



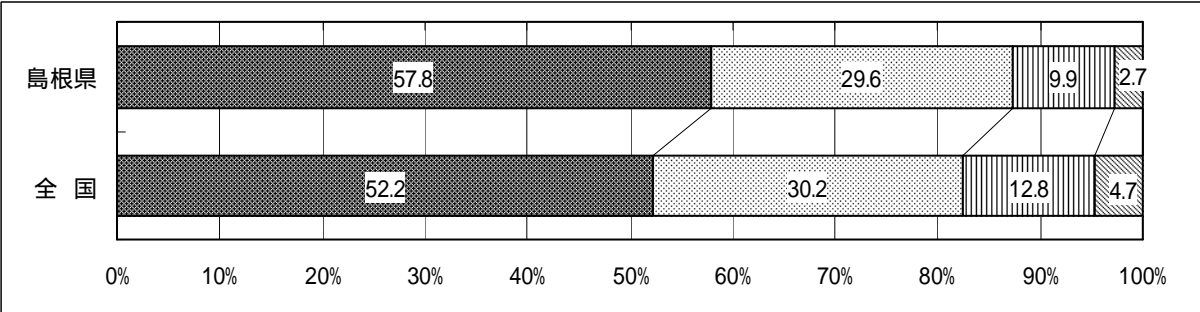
近所の人に出会ったときあいさつをしている児童生徒の割合は、小学校 93.3%、中学校 87.4%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



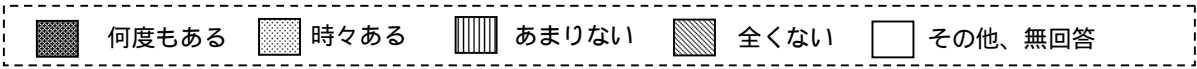
【小学校】 全国（公立）の値と比べると、4.7ポイント上回っていた。



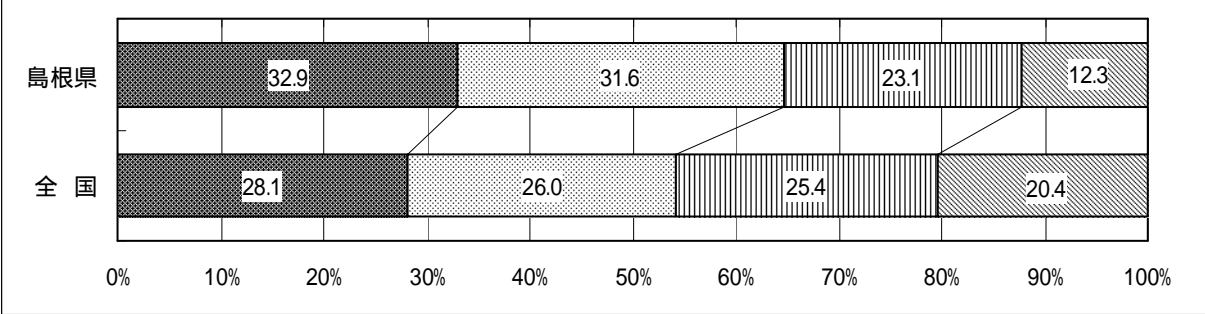
【中学校】 全国（公立）の値と比べると、5.0ポイント上回っていた。



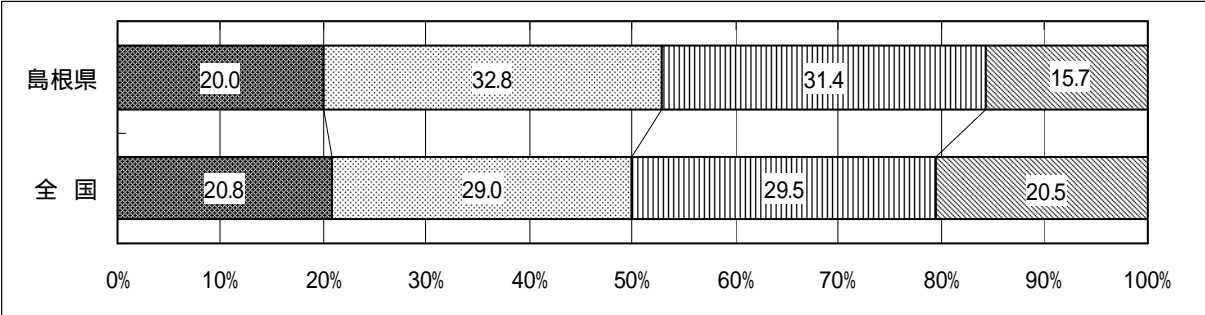
清掃活動（草取り、ゴミ拾いなど）へ参加したことがある児童生徒の割合は、小学校 64.5%、中学校 52.8%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



【小学校】 全国（公立）の値と比べると、10.4ポイント上回っていた。



【中学校】 全国（公立）の値と比べると、3.0ポイント上回っていた。

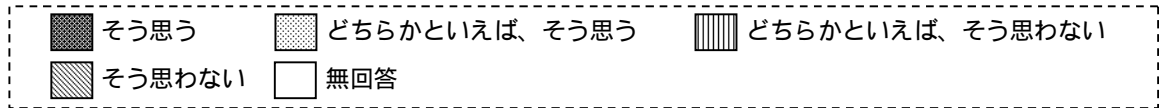


学校質問紙

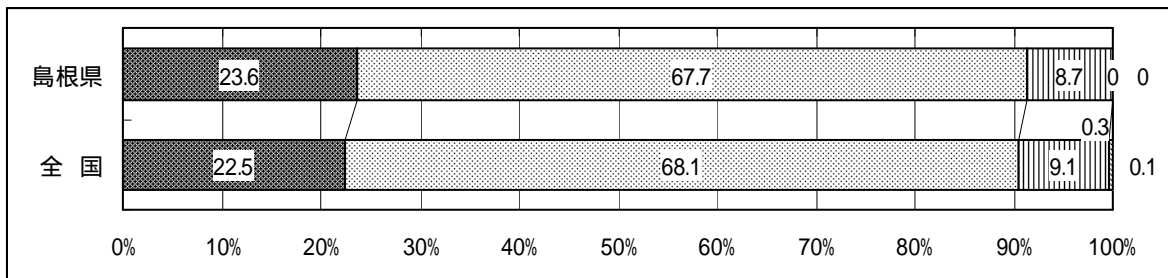
< 学習態度 >

文部科学省の分析から、児童生徒が熱意をもって勉強していると思っている学校の方が平均正答率が高い傾向が見られる。

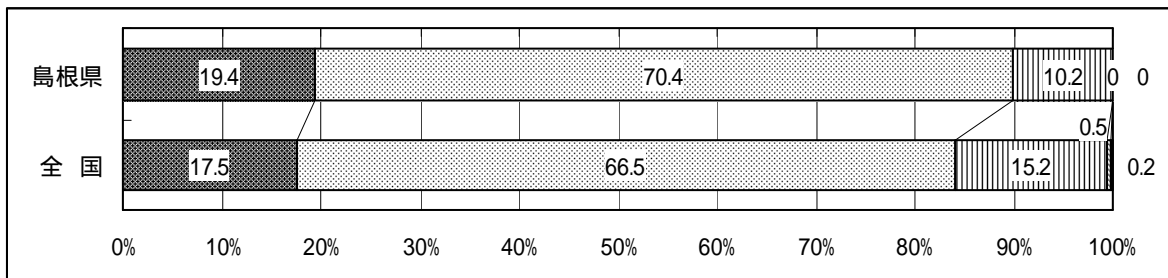
児童生徒が熱意をもって勉強していると思っている学校の割合は、小学校 91.3%、中学校 89.8%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



【小学校】 全国（公立）の値と比べると、0.7ポイント上回っていた。



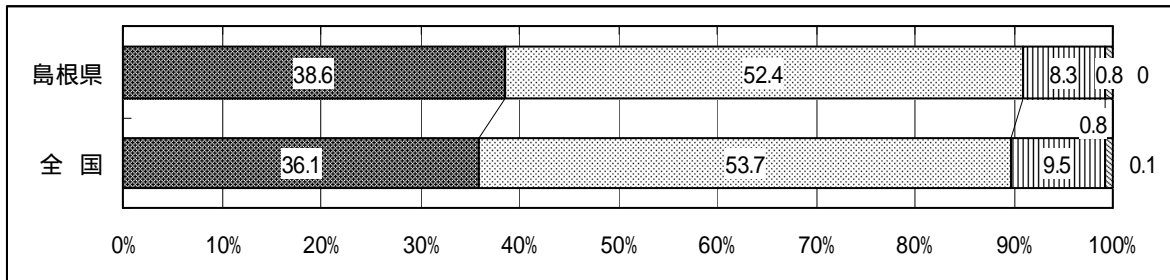
【中学校】 全国（公立）の値と比べると、5.8ポイント上回っていた。



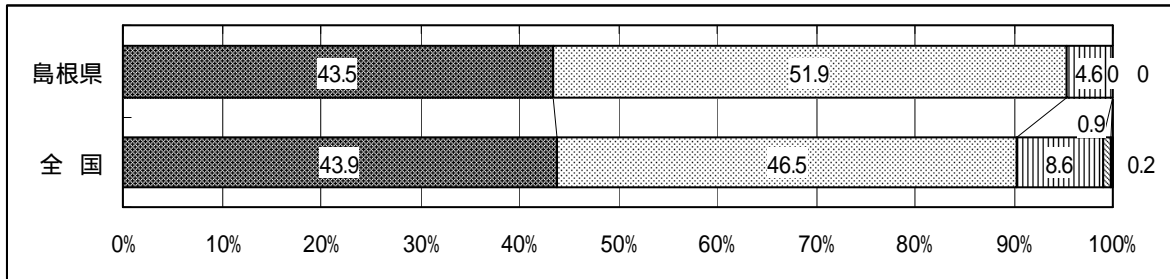
文部科学省の分析から、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思っている学校の方が、平均正答率が高い傾向が見られる。
 授業中の私語が少なく、落ち着いていると思っている学校の割合は、小学校 91.0%、中学校 95.4%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



【小学校】 全国（公立）の値と比べると、1.2ポイント上回っていた。



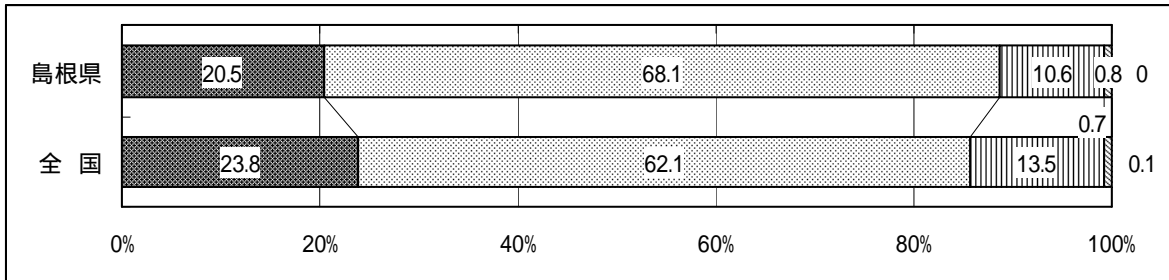
【中学校】 全国（公立）の値と比べると、5.0ポイント上回っていた。



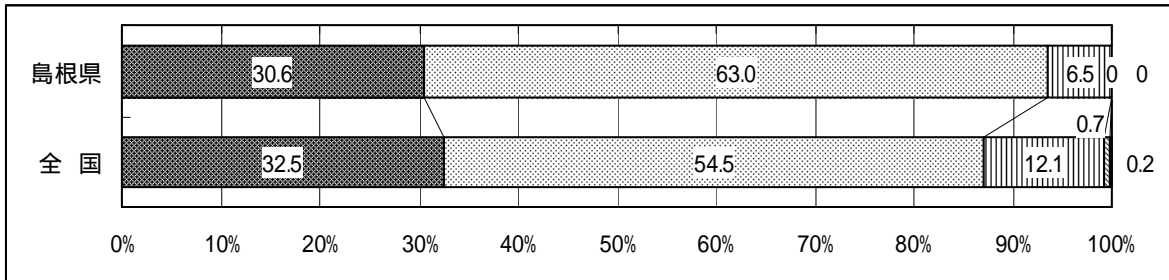
文部科学省の分析から、児童生徒が礼儀正しいと思っている学校の方が、平均正答率が高い傾向が見られる。
 児童生徒が礼儀正しいと思っている学校の割合は、小学校 88.6%、中学校 93.6%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



【小学校】 全国（公立）の値と比べると、2.7ポイント上回っていた。



【中学校】 全国（公立）の値と比べると、6.6ポイント上回っていた。

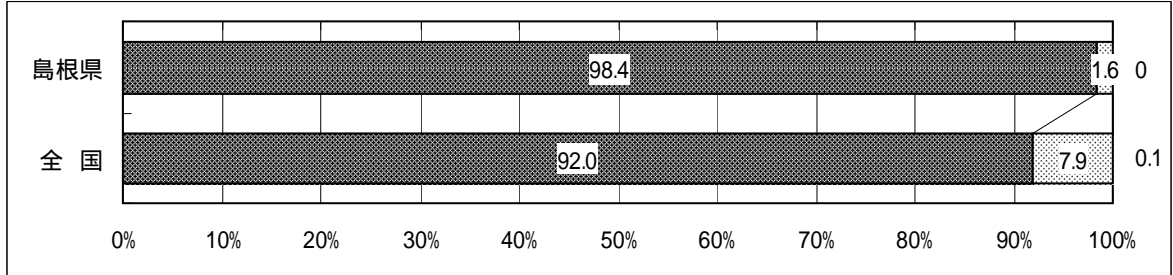


< 学力向上に向けた取組 >

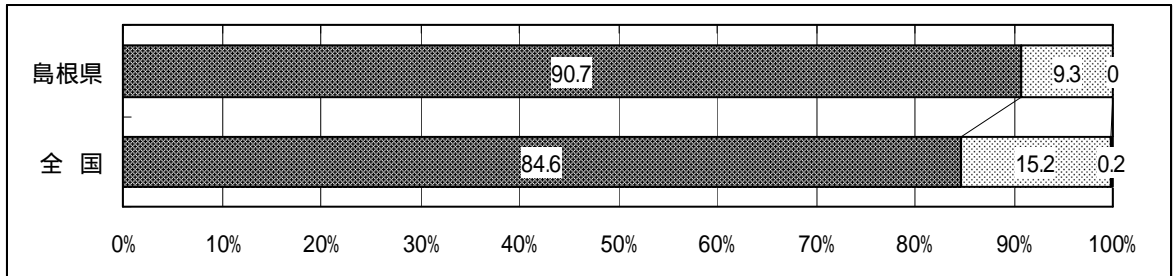
「朝読書」など一斉読書の時間を設けている学校の割合は、小学校 98.4%、中学校 90.7%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



【小学校】 全国（公立）の値と比べると、6.4ポイント上回っていた。



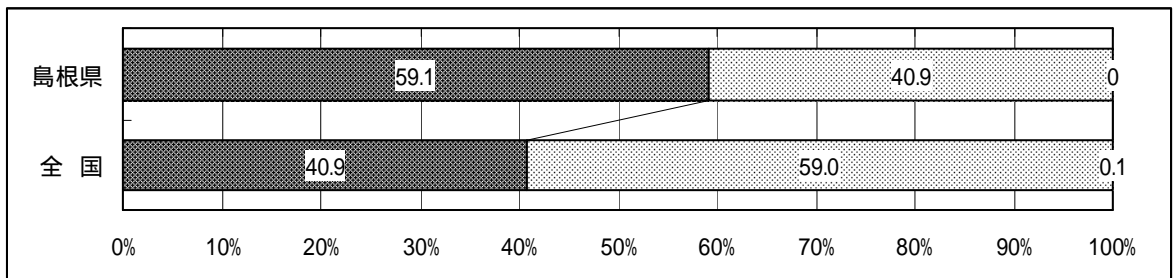
【中学校】 全国（公立）の値と比べると、6.1ポイント上回っていた。



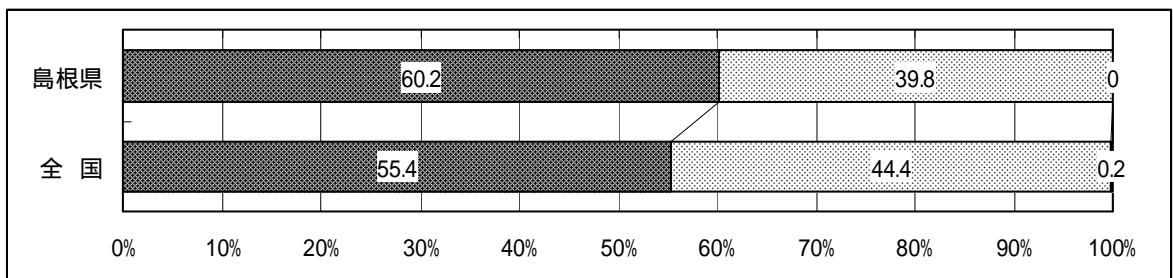
放課後を利用した補足的な学習サポートを実施している学校の割合は、小学校 59.1%、中学校 60.2%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



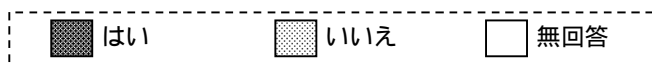
【小学校】 全国（公立）の値と比べると、18.2ポイント上回っていた。



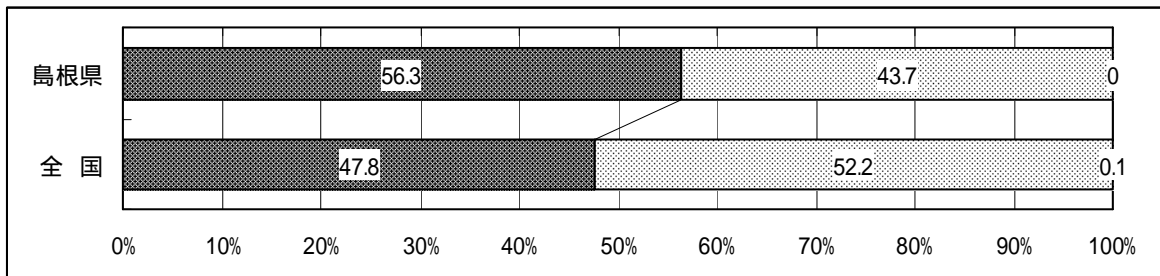
【中学校】 全国（公立）の値と比べると、4.8ポイント上回っていた。



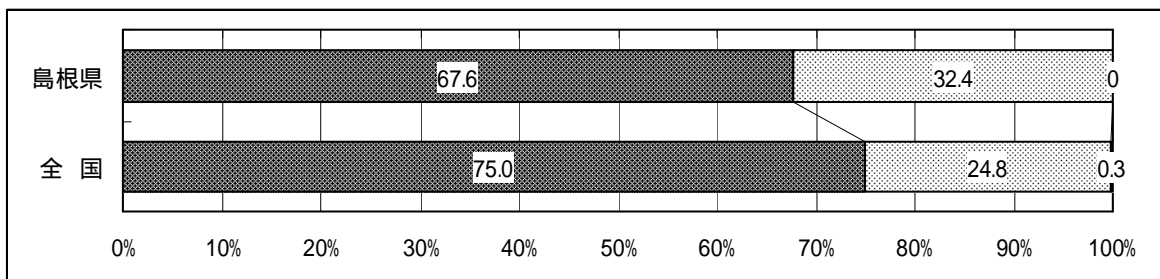
長期休業期間を利用した補足的な学習サポートを実施している学校の割合は、小学校 56.3%、中学校 67.6%であり、小学校では全国（公立）の値を上回っていたが、中学校では下回っていた。



【小学校】 全国（公立）の値と比べると、8.5ポイント上回っていた。



【中学校】 全国（公立）の値と比べると、7.4ポイント下回っていた。

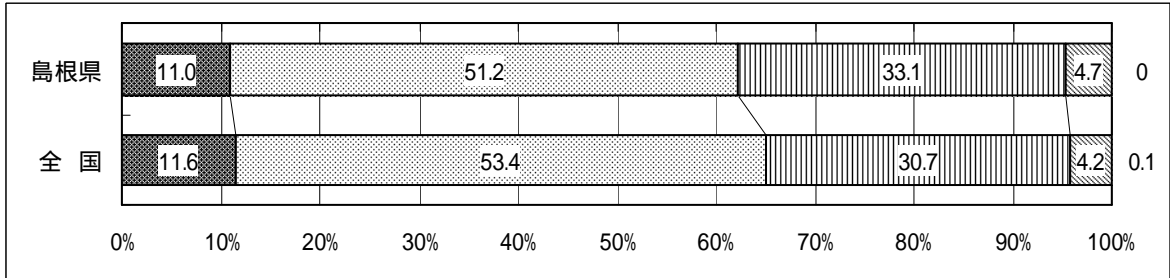


< 国語科、算数・数学科の指導方法 >

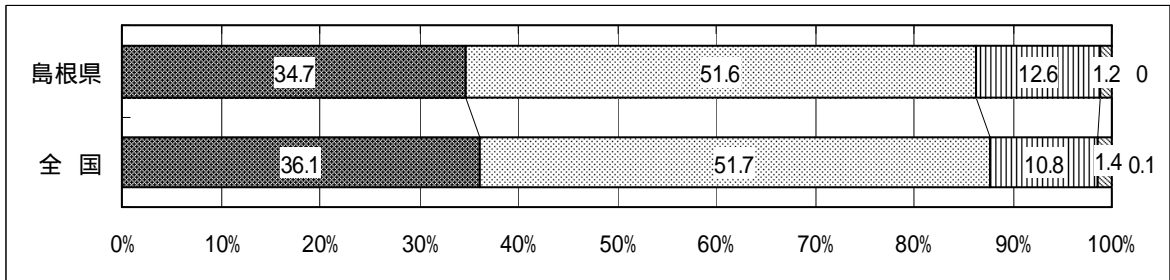
補充的な学習の指導を行った学校の割合は、小学校国語 62.2%、小学校算数 86.3%、中学校国語 69.5%、中学校数学 79.6%であり、すべてにおいて全国（公立）の値を下回っていた。



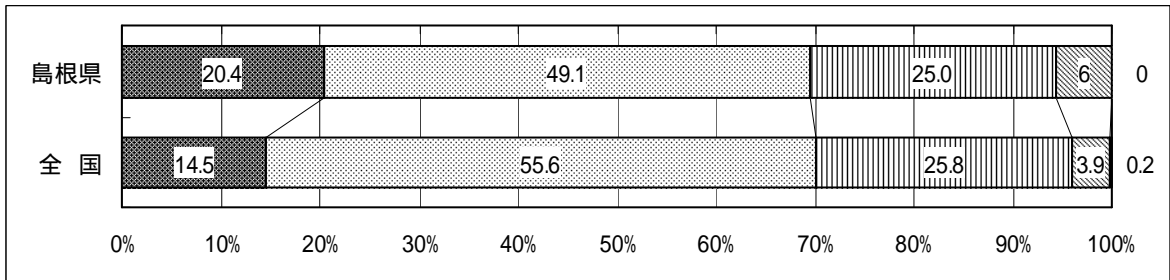
【小学校国語】 全国（公立）の値と比べると、2.8ポイント下回っていた。



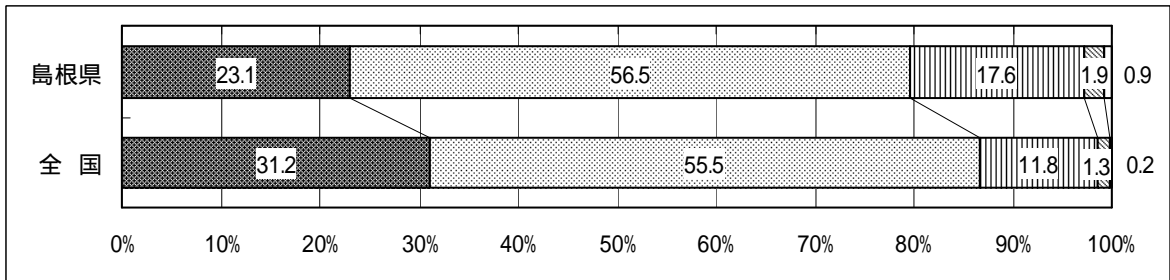
【小学校算数】 全国（公立）の値と比べると、1.5ポイント下回っていた。



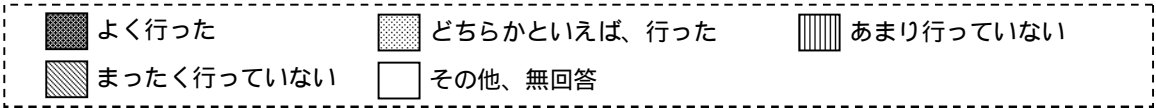
【中学校国語】 全国（公立）の値と比べると、0.6ポイント下回っていた。



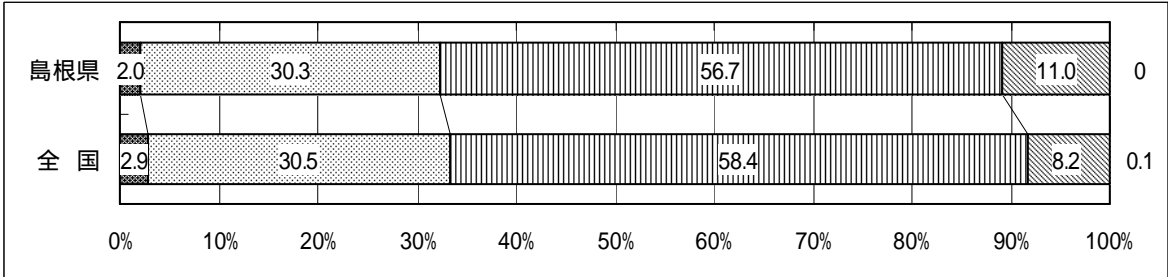
【中学校数学】 全国（公立）の値と比べると、7.1ポイント下回っていた。



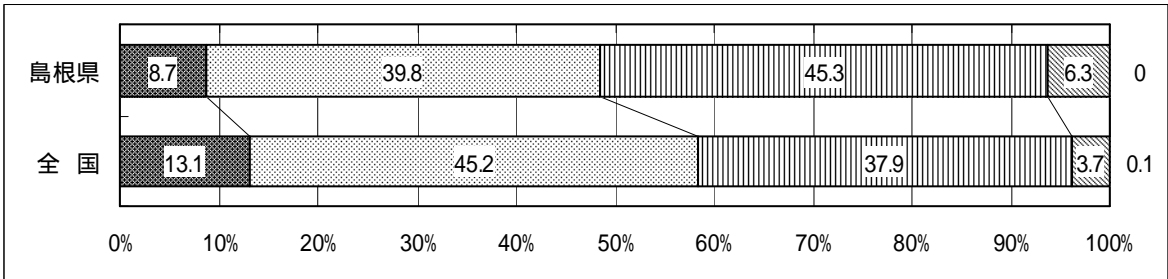
発展的な学習の指導を行った学校の割合は、小学校国語 32.3%、小学校算数 48.5%、中学校国語 35.2%、中学校数学 49.1%であり、すべてにおいて全国（公立）の値を下回っていた。



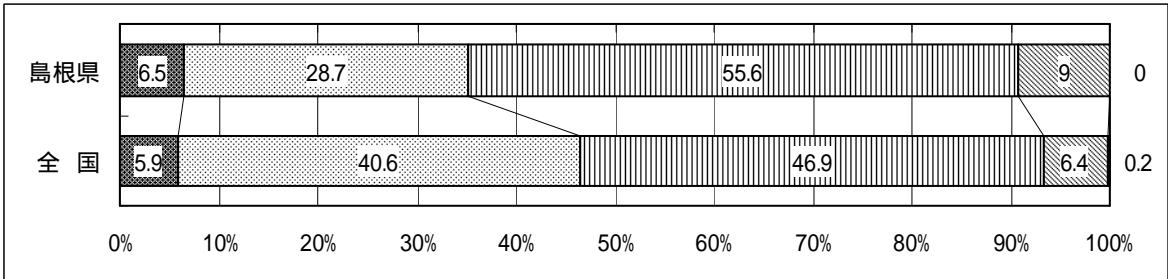
【小学校国語】 全国（公立）の値と比べると、1.1ポイント下回っていた。



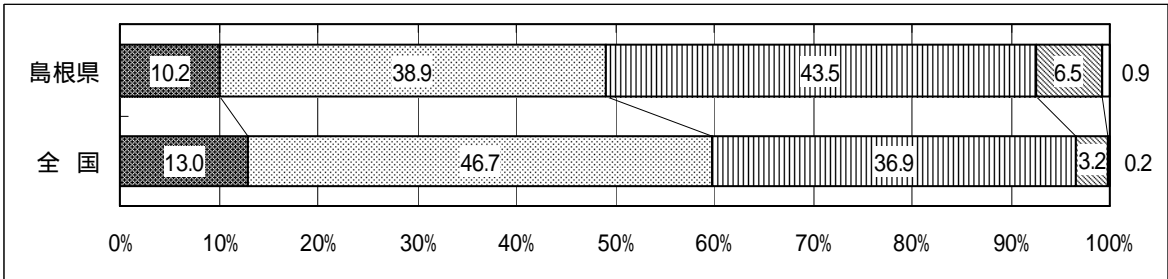
【小学校算数】 全国（公立）の値と比べると、9.8ポイント下回っていた。



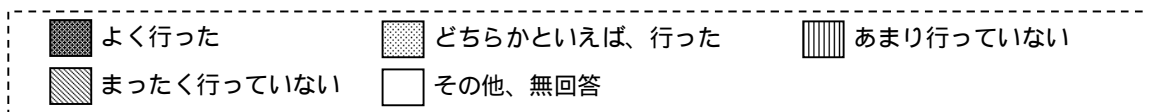
【中学校国語】 全国（公立）の値と比べると、11.3ポイント下回っていた。



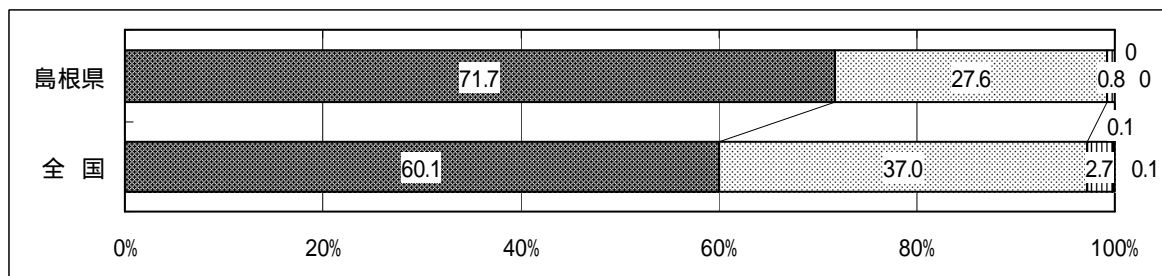
【中学校数学】 全国（公立）の値と比べると、10.6ポイント下回っていた。



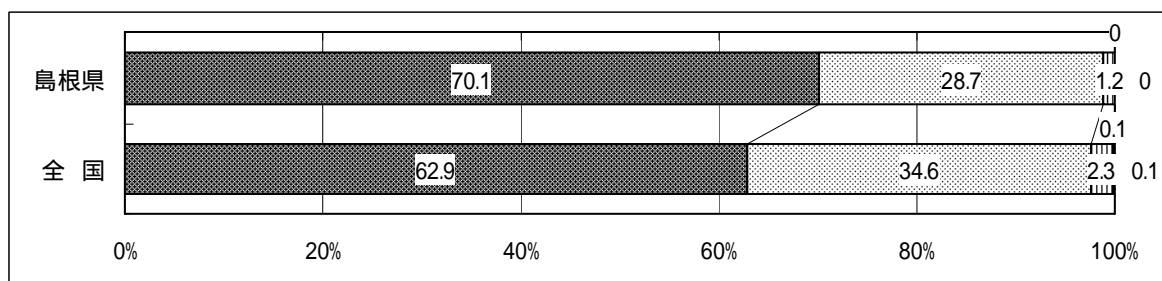
家庭学習の課題（宿題）を与えた学校の割合は、小学校国語 99.3%、小学校算数 98.8%、中学校国語 82.4%、中学校数学 89.8%であり、中学校国語を除いて全国（公立）の値を上回っていた。



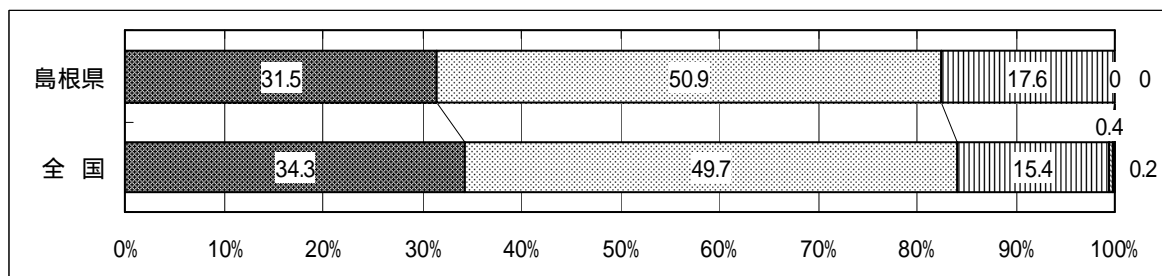
【小学校国語】 全国（公立）の値と比べると、2.2ポイント上回っていた。



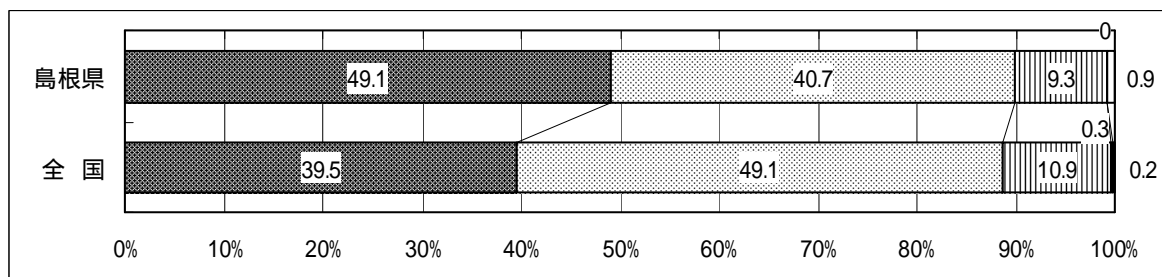
【小学校算数】 全国（公立）の値と比べると、1.3ポイント上回っていた。



【中学校国語】 全国（公立）の値と比べると、1.6ポイント下回っていた。

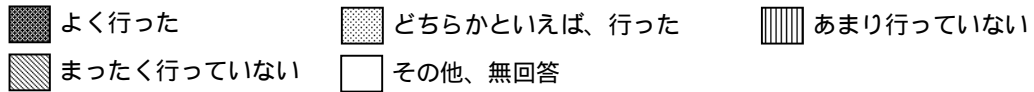


【中学校数学】 全国（公立）の値と比べると、1.2ポイント上回っていた。

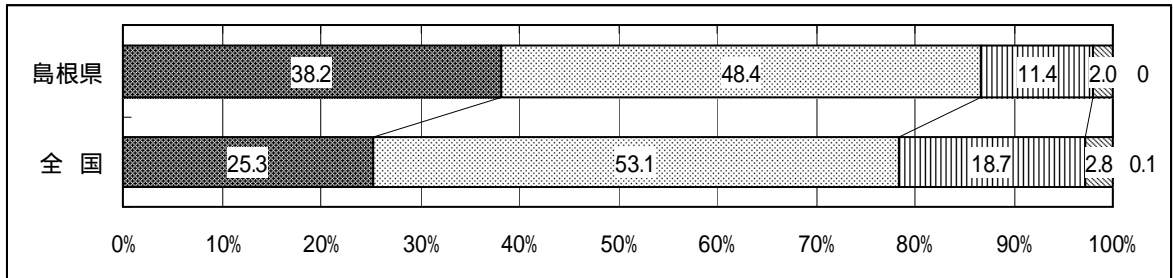


< 地域の人材の活用 >

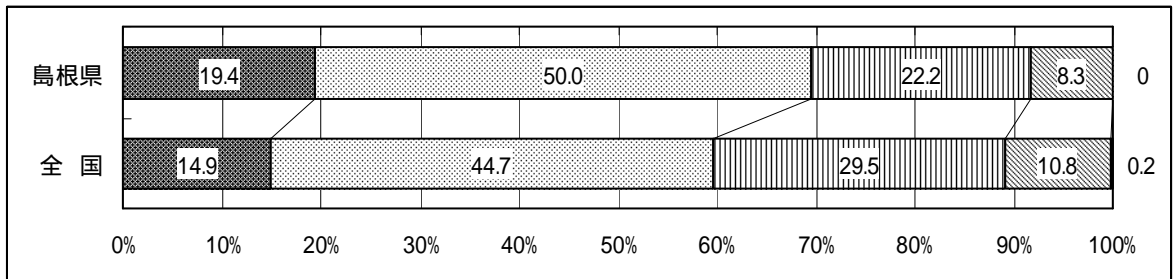
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った学校の割合は、小学校 86.6%、中学校 69.4%であり、ともに全国（公立）の値を上回っていた。



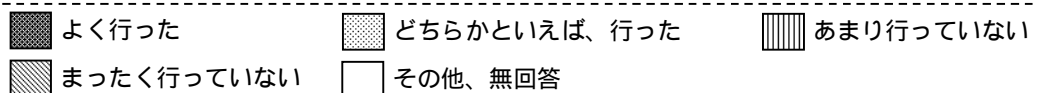
【小学校】 全国（公立）の値と比べると、8.2ポイント上回っていた。



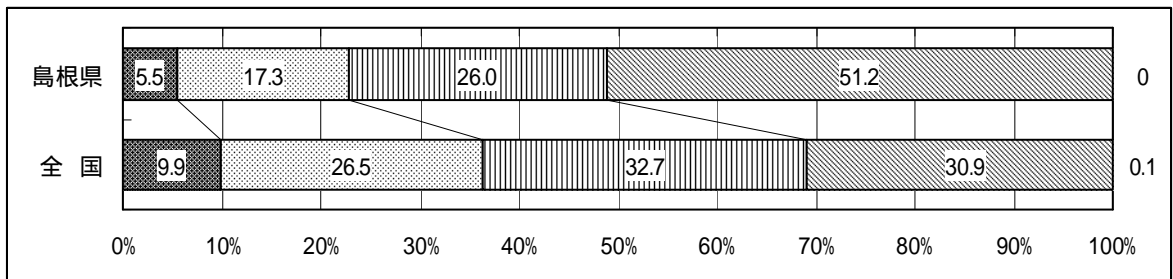
【中学校】 全国（公立）の値と比べると、9.8ポイント上回っていた。



ボランティア等による授業サポート(補助)を行った学校の割合は、小学校 22.8%、中学校 12.0%であり、ともに全国（公立）の値を下回っていた。



【小学校】 全国（公立）の値と比べると、13.6ポイント下回っていた。



【中学校】 全国（公立）の値と比べると、6.8ポイント下回っていた。

